

市民アンケート調査

八千代市農業振興計画に係る市民アンケート調査概要

(1) 調査目的

八千代市農業振興計画の策定にあたり、現状の把握や施策の立案等の参考とするため、市民の意見を収集するアンケート調査を実施した。

(2) 調査期間

2019年12月6日～2020年1月10日が回答期間となるように郵送により配布・回収

(3) 対象者

<市民>

市内在住の方を対象として、無作為抽出した1,500名

(4) 回収率

配布数	返送数	有効回答数
1,500通	8通	485通 (32.5%)

(5) 回答の見方

- ・ 回答率(%)は、単純集計は小数点第2位を四捨五入し少数点第1位まで、クロス集計は小数点第1位を四捨五入して表示している。このため合計値は100%とはならない場合がある。
- ・ 回答には、単数回答と複数回答がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。
- ・ 傾向を掴みやすくするため、地区を「農村ゾーン」「混在ゾーン」「市街地ゾーン」に分けて分析している箇所がある。ゾーンごとの大字の振り分けは以下のとおり。

農村ゾーン			混在ゾーン	市街地ゾーン		
小池	神野	下高野	吉橋	緑が丘	高津東	勝田台南
神久保	保品	尾崎	緑が丘西	大和田新田	八千代台北	勝田
真木野	桑橋	麦丸	萱田	萱田町	八千代台西	
大学町	島田台		ゆりのき台	大和田	八千代台東	
佐山	島田		村上	村上南	八千代台南	
平戸	桑納		上高野	下市場	勝田台北	
堀の内	米本			高津	勝田台	

※ 市民アンケートの居住地別クロス分析で用いている農村ゾーン、混在ゾーン、市街地ゾーンの区分は、農業者アンケートで用いている耕作地域の区分と異なる箇所がある。

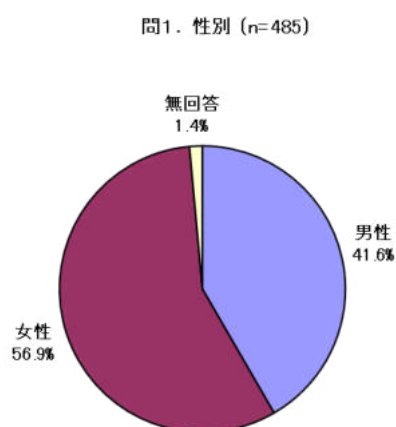
市民アンケート調査結果

I 回答者の属性について

問1. 性別

回答者の性別は、「男性」が41.6%、「女性」が56.9%と女性の方が多くみられた。

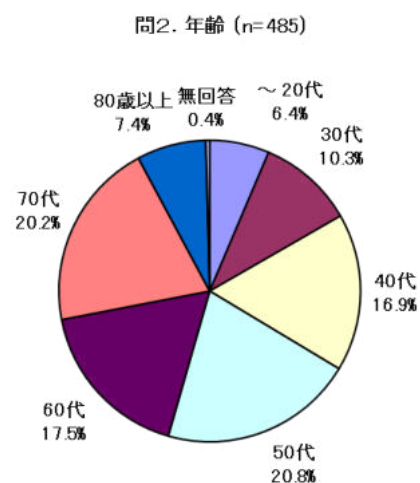
	回答数	比率
男性	202	41.6%
女性	276	56.9%
無回答	7	1.4%
合計	485	100.0%



問2. 年齢

回答者の年齢は「50代」が20.8%で最も多く、次いで「70代」が20.2%、「60代」が17.5%と多くみられた。

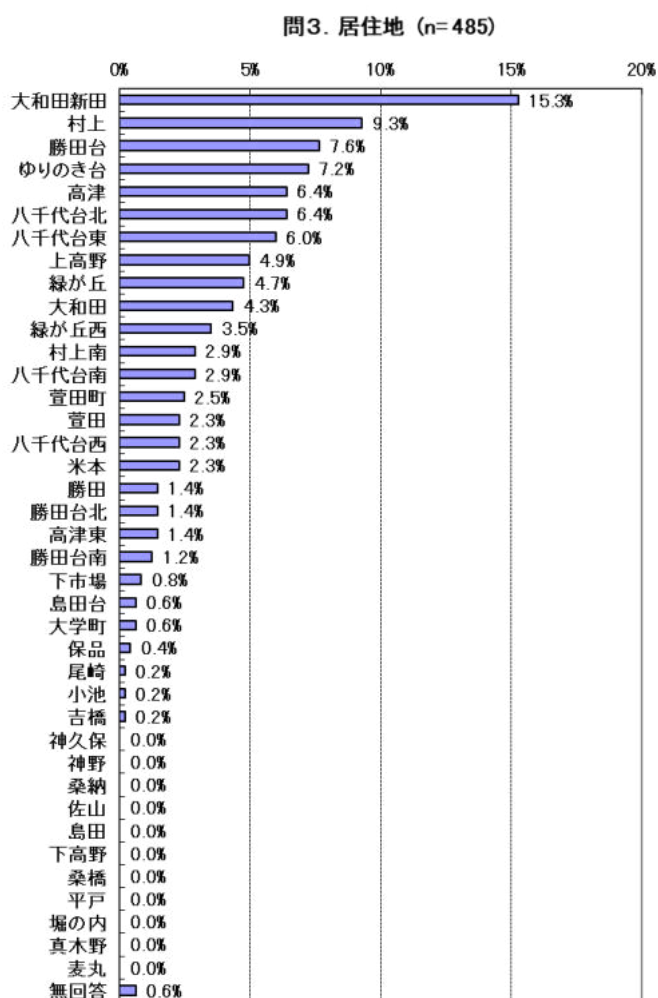
	回答数	比率
～20代	31	6.4%
30代	50	10.3%
40代	82	16.9%
50代	101	20.8%
60代	85	17.5%
70代	98	20.2%
80歳以上	36	7.4%
無回答	2	0.4%
合計	485	100.0%



問3. 居住地

回答者の居住地は「大和田新田」が 15.3%と最も多く、次いで「村上」が 9.3%、「勝田台」が 7.6%と多くみられた。

	回答数	比率
大和田新田	74	15.3%
村上	45	9.3%
勝田台	37	7.6%
ゆりのき台	35	7.2%
高津	31	6.4%
八千代台北	31	6.4%
八千代台東	29	6.0%
上高野	24	4.9%
緑が丘	23	4.7%
大和田	21	4.3%
緑が丘西	17	3.5%
村上南	14	2.9%
八千代台南	14	2.9%
萱田町	12	2.5%
萱田	11	2.3%
八千代台西	11	2.3%
米本	11	2.3%
勝田	7	1.4%
勝田台北	7	1.4%
高津東	7	1.4%
勝田台南	6	1.2%
下市場	4	0.8%
島田台	3	0.6%
大学町	3	0.6%
保品	2	0.4%
尾崎	1	0.2%
小池	1	0.2%
吉橋	1	0.2%
神久保	0	0.0%
神野	0	0.0%
桑納	0	0.0%
佐山	0	0.0%
島田	0	0.0%
下高野	0	0.0%
桑橋	0	0.0%
平戸	0	0.0%
堀の内	0	0.0%
真木野	0	0.0%
麦丸	0	0.0%
無回答	3	0.6%
合計	485	100.0%

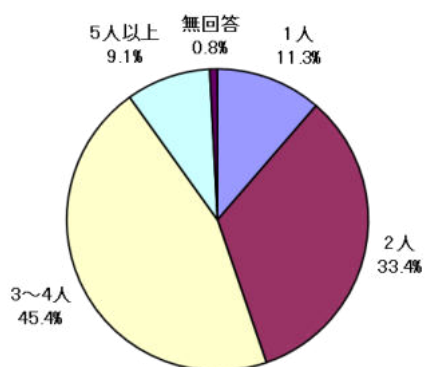


問4. 世帯員数

世帯員数は「3～4人」が45.4%と最も多く、次いで「2人」が33.4%、「1人」が11.3%と多くみられた。

	回答数	比率
1人	55	11.3%
2人	162	33.4%
3～4人	220	45.4%
5人以上	44	9.1%
無回答	4	0.8%
合計	485	100.0%

問4. 世帯員数 (n=485)



II 農産物の購入状況について

問5. 外食・中食の頻度

「週に1～5回程度は、外食や購入する惣菜・弁当である」が54.4%と最も多く、次いで「ない（基本的に自宅で調理した食事を食べる）」が35.1%と多くみられた。

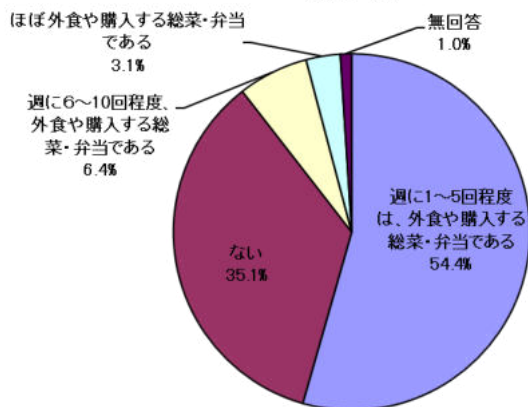
年齢別クロス集計では、「～20代」では外食・中食を高頻度で利用する回答者の割合が高い一方で、「30代」、「40代」、「50代」では「週に1～5回程度は、外食や購入する惣菜・弁当である」の割合が高くなり、さらに「60代」以上の層では「ない（基本的に自宅で調理した食事を食べる）」の割合が高くなった。

居住地別クロス集計では、「混在ゾーン」と「市街地ゾーン」で「週に1～5回程度は、外食や購入する惣菜・弁当である」の割合が高くみられた。

世帯員数別クロス集計では、「1人」の層で外食・中食を高頻度で利用する回答者の割合が高く、「3～4人」以上の層では「ない（基本的に自宅で調理した食事を食べる）」の割合が低くなった。

	回答数	比率
週に1～5回程度は、外食や購入する惣菜・弁当である	264	54.4%
ない(基本的に自宅で調理した食事を食べる)	170	35.1%
週に6～10回程度、外食や購入する惣菜・弁当である	31	6.4%
ほぼ外食や購入する惣菜・弁当である	15	3.1%
無回答	5	1.0%
合計	485	100.0%
n	485	

問5. 普段あなたが、外食や購入する惣菜・弁当で食事をとる機会の頻度について (n=485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	た ない 食 事 を 食 べ る （ 基 本 的 に 自 宅 で 調 理 し ）	購 週 入 に 1 〜 5 回 程 度 は 、 外 食 や	購 週 入 に 6 〜 1 0 回 程 度 、 外 食 や	当 ほ ぼ 外 食 や 購 入 す る 総 菜 ・ 弁 当 で あ る	無 回 答
全体	485	485	170	264	31	15	5
		100%	35%	54%	6%	3%	1%
～ 20代	31	31	7	16	5	3	0
		100%	23%	52%	16%	10%	0%
30代	50	50	11	34	4	1	0
		100%	22%	68%	8%	2%	0%
40代	82	82	18	54	7	3	0
		100%	22%	66%	9%	4%	0%
50代	101	101	25	65	7	3	1
		100%	25%	64%	7%	3%	1%
60代	85	85	37	41	4	2	1
		100%	44%	48%	5%	2%	1%
70代	98	98	54	39	3	1	1
		100%	55%	40%	3%	1%	1%
80歳以上	36	36	18	15	1	2	0
		100%	50%	42%	3%	6%	0%
無回答	2	2	0	0	0	0	2
		100%	0%	0%	0%	0%	100%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	た ない 食 事 を 食 べ る （ 基 本 的 に 自 宅 で 調 理 し ）	購 週 入 に 1 〜 5 回 程 度 は 、 外 食 や	購 週 入 に 6 〜 1 0 回 程 度 、 外 食 や	当 ほ ぼ 外 食 や 購 入 す る 総 菜 ・ 弁 当 で あ る	無 回 答
全体	485	485	170	264	31	15	5
		100%	35%	54%	6%	3%	1%
農村ゾーン	21	21	9	9	2	0	1
		100%	43%	43%	10%	0%	5%
混在ゾーン	133	133	44	71	12	6	0
		100%	33%	53%	9%	5%	0%
市街地ゾーン	328	328	117	184	16	9	2
		100%	36%	56%	5%	3%	1%
無回答	3	3	0	0	1	0	2
		100%	0%	0%	33%	0%	67%

<世帯員数別・クロス集計>

	n	合計	た ない 食 事 を 食 べ る (基 本 的 に 自 宅 で 調 理 し)	購 週 入 に 1 〜 5 回 程 度 は 、 外 食 や	購 週 入 に 6 〜 1 0 回 程 度 、 外 食 や	当 ほ ぼ 外 食 や 購 入 す る 総 菜 ・ 弁 当 で あ る	無 回 答
全体	485	485	170	264	31	15	5
		100%	35%	54%	6%	3%	1%
1人	55	55	23	22	3	7	0
		100%	42%	40%	5%	13%	0%
2人	162	162	67	86	6	3	0
		100%	41%	53%	4%	2%	0%
3〜4人	220	220	65	126	21	5	3
		100%	30%	57%	10%	2%	1%
5人以上	44	44	14	29	1	0	0
		100%	32%	66%	2%	0%	0%
無回答	4	4	1	1	0	0	2
		100%	25%	25%	0%	0%	50%

問6. 農産物を購入する店舗形態・最も利用する店舗（購入する店舗は複数回答）

農産物を購入する店舗では「スーパー（通常の売り場）」が91.8%と最も多く、次いで「スーパー（地場野菜コーナー）」が56.3%、「直売所・道の駅」が42.7%が多くみられた。

最も利用する店舗では「スーパー（通常の売り場）」が73.8%と最も多く、他の選択肢は全て10%以下となった。

年齢別クロス集計では、農産物を購入する店舗では、どの年齢層でも「スーパー（通常の売り場）」が高くみられる中で、「スーパー（地場野菜コーナー）」と「直売所・道の駅」で「～20代」の割合が低く「50代」の割合が高い傾向がみられた。最も利用する店舗では、どの年齢層でも「スーパー（通常の売り場）」が多数を占める中、「60代」以上の層で「スーパー（地場野菜コーナー）」の割合が高い傾向がみられた。

居住地別クロス集計では、農産物を購入する店舗では、「農村ゾーン」で「スーパー（地場野菜コーナー）」の割合が低く「農家の庭先」の割合が高い、「市街地ゾーン」で「八百屋・青果店」の割合が高いといった傾向がみられた。最も利用する店舗では、どの居住地でも「スーパー（通常の売り場）」が多数を占めた。

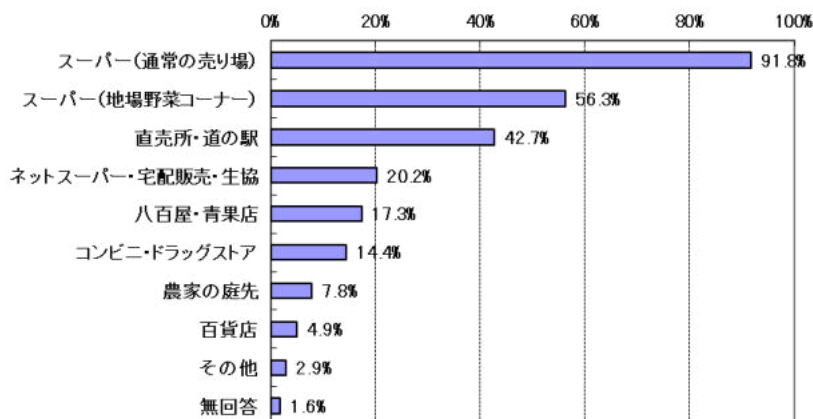
農産物を購入する店舗（複数回答）

	回答数	比率
スーパー（通常の売り場）	445	91.8%
スーパー（地場野菜コーナー）	273	56.3%
直売所・道の駅	207	42.7%
ネットスーパー・宅配販売・生協	98	20.2%
八百屋・青果店	84	17.3%
コンビニ・ドラッグストア	70	14.4%
農家の庭先	38	7.8%
百貨店	24	4.9%
その他	14	2.9%
無回答	8	1.6%
合計	1261	-
n	485	

その他

まちの駅
農協 …2件
農家の移動店舗
農家さんが特定の場所で販売
朝市
通信販売
自家消費
畑で取れた物を頂いている
家庭菜園でのいただきもの
家庭菜園
無回答 …3件

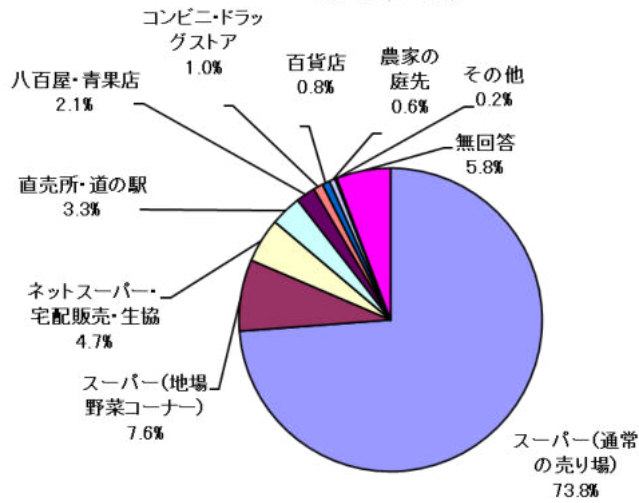
問6. あなたのご家庭で農産物を購入する際に利用する店舗について (n=485)



最も利用する店舗

	回答数	比率
スーパー(通常の売り場)	358	73.8%
スーパー(地場野菜コーナー)	37	7.6%
ネットスーパー・宅配販売・生協	23	4.7%
直売所・道の駅	16	3.3%
八百屋・青果店	10	2.1%
コンビニ・ドラッグストア	5	1.0%
百貨店	4	0.8%
農家の庭先	3	0.6%
その他	1	0.2%
無回答	28	5.8%
合計	485	100.0%

問6. あなたのご家庭で農産物を購入する際に最も利用する店舗について (n=485)



<年齢別・クロス集計>

農産物を購入する店舗（複数回答）

	n	合計	スーパー（通常の売り場）	スーパー（地場野菜コーナー）	百貨店	八百屋・青果店	直売所・道の駅	コンビニ・ドラッグストア	生協	ネットスーパー・宅配販売・	農家の庭先	その他	無回答
全体	485	1261	445	273	24	84	207	70	98	38	14	8	
		260%	92%	56%	5%	17%	43%	14%	20%	8%	3%	2%	
～20代	31	71	31	13	1	3	9	8	6	0	0	0	
		229%	100%	42%	3%	10%	29%	26%	19%	0%	0%	0%	
30代	50	129	49	26	4	11	17	12	7	2	0	1	
		258%	98%	52%	8%	22%	34%	24%	14%	4%	0%	2%	
40代	82	222	77	54	2	10	33	15	21	8	1	1	
		271%	94%	66%	2%	12%	40%	18%	26%	10%	1%	1%	
50代	101	296	96	71	6	17	52	14	25	10	4	1	
		293%	95%	70%	6%	17%	51%	14%	25%	10%	4%	1%	
60代	85	228	76	51	4	17	42	8	16	11	3	0	
		268%	89%	60%	5%	20%	49%	9%	19%	13%	4%	0%	
70代	98	233	83	45	6	19	42	11	16	4	3	4	
		238%	85%	46%	6%	19%	43%	11%	16%	4%	3%	4%	
80歳以上	36	76	31	12	1	7	11	2	6	3	2	1	
		211%	86%	33%	3%	19%	31%	6%	17%	8%	6%	3%	
無回答	2	6	2	1	0	0	1	0	1	0	1	0	
		300%	100%	50%	0%	0%	50%	0%	50%	0%	50%	0%	

最も利用する店舗

	n	合計	スーパー（通常の売り場）	スーパー（地場野菜コーナー）	百貨店	八百屋・青果店	直売所・道の駅	コンビニ・ドラッグストア	生協	ネットスーパー・宅配販売・	農家の庭先	その他	無回答
全体	485	485	358	37	4	10	16	5	23	3	1	28	
		100%	74%	8%	1%	2%	3%	1%	5%	1%	0%	6%	
～20代	31	31	22	0	0	1	3	0	2	0	0	3	
		100%	71%	0%	0%	3%	10%	0%	6%	0%	0%	10%	
30代	50	50	40	1	0	2	2	1	2	0	0	2	
		100%	80%	2%	0%	4%	4%	2%	4%	0%	0%	4%	
40代	82	82	68	4	1	1	2	2	2	0	0	2	
		100%	83%	5%	1%	1%	2%	2%	2%	0%	0%	2%	
50代	101	101	77	7	1	1	2	1	6	2	1	3	
		100%	76%	7%	1%	1%	2%	1%	6%	2%	1%	3%	
60代	85	85	62	11	1	1	1	0	3	1	0	5	
		100%	73%	13%	1%	1%	1%	0%	4%	1%	0%	6%	
70代	98	98	66	10	1	2	4	0	6	0	0	9	
		100%	67%	10%	1%	2%	4%	0%	6%	0%	0%	9%	
80歳以上	36	36	21	4	0	2	2	1	2	0	0	4	
		100%	58%	11%	0%	6%	6%	3%	6%	0%	0%	11%	
無回答	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

<居住地別・クロス集計※>

農産物を購入する店舗（複数回答）

	n	合計	スーパー（通常の売り場）	スーパー（地場野菜コーナー）	百貨店	八百屋・青果店	直売所・道の駅	コンビニ・ドラッグストア	生協	ネットスーパー・宅配販売・	農家の庭先	その他	無回答
全体	485	1261	445	273	24	84	207	70	98	38	14	8	
		260%	92%	56%	5%	17%	43%	14%	20%	8%	3%	2%	
農村ゾーン	21	48	19	8	0	0	10	2	3	3	3	0	
		229%	90%	38%	0%	0%	48%	10%	14%	14%	14%	0%	
混在ゾーン	133	345	124	79	10	7	55	22	30	11	3	4	
		259%	93%	59%	8%	5%	41%	17%	23%	8%	2%	3%	
市街地ゾーン	328	860	299	185	14	77	140	46	64	24	7	4	
		262%	91%	56%	4%	23%	43%	14%	20%	7%	2%	1%	
無回答	3	8	3	1	0	0	2	0	1	0	1	0	
		267%	100%	33%	0%	0%	67%	0%	33%	0%	33%	0%	

最も利用する店舗

	n	合計	スーパー（通常の売り場）	スーパー（地場野菜コーナー）	百貨店	八百屋・青果店	直売所・道の駅	コンビニ・ドラッグストア	生協	ネットスーパー・宅配販売・	農家の庭先	その他	無回答
全体	485	485	358	37	4	10	16	5	23	3	1	28	
		100%	74%	8%	1%	2%	3%	1%	5%	1%	0%	6%	
農村ゾーン	21	21	15	1	0	0	2	1	0	0	0	2	
		100%	71%	5%	0%	0%	10%	5%	0%	0%	0%	10%	
混在ゾーン	133	133	98	11	0	0	3	1	8	0	0	12	
		100%	74%	8%	0%	0%	2%	1%	6%	0%	0%	9%	
市街地ゾーン	328	328	243	25	4	10	10	3	15	3	1	14	
		100%	74%	8%	1%	3%	3%	1%	5%	1%	0%	4%	
無回答	3	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
		100%	67%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	

問6 - 1. 最も利用する店舗で購入する農産物の金額の割合

最も利用する店舗で購入する農産物の金額の割合は、「スーパー（通常の売り場）」では「3割」が最も多く、「スーパー（地場野菜コーナー）」では「3割」が、「直売所・道の駅」では「7割」と「8割」が最も多い。

	n	合計	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	無回答
全体	485	485	11	31	85	58	72	36	66	54	24	9	39
		100%	2%	6%	18%	12%	15%	7%	14%	11%	5%	2%	8%
スーパー(通常の売り場)	358	358	6	22	63	44	54	22	48	43	20	8	28
		100%	2%	6%	18%	12%	15%	6%	13%	12%	6%	2%	8%
スーパー(地場野菜コーナー)	37	37	1	5	10	5	7	3	2	2	0	0	2
		100%	3%	14%	27%	14%	19%	8%	5%	5%	0%	0%	5%
百貨店	4	4	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1
		100%	0%	0%	25%	0%	0%	25%	25%	0%	0%	0%	25%
八百屋・青果店	10	10	1	0	1	1	1	3	1	0	1	0	1
		100%	10%	0%	10%	10%	10%	30%	10%	0%	10%	0%	10%
直売所・道の駅	16	16	1	1	1	2	0	2	4	4	0	0	1
		100%	6%	6%	6%	13%	0%	13%	25%	25%	0%	0%	6%
コンビニ・ドラッグストア	5	5	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0
		100%	0%	0%	20%	0%	40%	0%	40%	0%	0%	0%	0%
ネットスーパー・宅配販売・生協	23	23	0	2	2	1	5	3	5	1	3	0	1
		100%	0%	9%	9%	4%	22%	13%	22%	4%	13%	0%	4%
農家の庭先	3	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	67%	0%	33%	0%	0%	0%
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%
無回答	28	28	2	1	6	5	3	0	2	3	0	1	5
		100%	7%	4%	21%	18%	11%	0%	7%	11%	0%	4%	18%

◇ **八千代市における市内外産別農産物の消費額の推計**

以下の数値から、八千代市における市内外産別農産物の消費額を推計した。

- ① 総世帯数（R1 12月末時点 八千代市 HP）

89,887 世帯

- ② 1世帯における米、生鮮野菜、生鮮果実の年間消費額（2018年 家計調査）

113,579 円

- ③ 最も利用する購入先の割合（本アンケート結果 問6）※無回答を除く割合を使用

	回答数	比率
スーパー(通常の売り場)	358	78.3%
スーパー(地場野菜コーナー)	37	8.1%
ネットスーパー・宅配販売・生協	23	5.0%
直売所・道の駅	16	3.5%
八百屋・青果店	10	2.2%
コンビニ・ドラッグストア	5	1.1%
百貨店	4	0.9%
農家の庭先	3	0.7%
その他	1	0.2%
無回答	28	
無回答を除く合計	457	100.0%
n	485	

- ④ 最も利用する購入先における消費額の割合（本アンケート結果 問6-1）

※無回答を除く割合を使用

	n	合計	無回答を除く合計	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	無回答
全体	485	485	446	11	31	85	58	72	36	66	54	24	9	39
		100.0%		2.5%	7.0%	19.1%	13.0%	16.1%	8.1%	14.8%	12.1%	5.4%	2.0%	
スーパー(通常の売り場)	358	358	330	6	22	63	44	54	22	48	43	20	8	28
		100.0%		1.8%	6.7%	19.1%	13.3%	16.4%	6.7%	14.5%	13.0%	6.1%	2.4%	
スーパー(地場野菜コーナー)	37	37	35	1	5	10	5	7	3	2	2	0	0	2
		100.0%		2.9%	14.3%	28.6%	14.3%	20.0%	8.6%	5.7%	5.7%	0.0%	0.0%	
百貨店	4	4	3	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1
		100.0%		0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
八百屋・青果店	10	10	9	1	0	1	1	1	3	1	0	1	0	1
		100.0%		11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	
直売所・道の駅	16	16	15	1	1	1	2	0	2	4	4	0	0	1
		100.0%		6.7%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%	13.3%	26.7%	26.7%	0.0%	0.0%	
コンビニ・ドラッグストア	5	5	5	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0
		100.0%		0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ネットスーパー・宅配販売・生協	23	23	22	0	2	2	1	5	3	5	1	3	0	1
		100.0%		0.0%	9.1%	9.1%	4.5%	22.7%	13.6%	22.7%	4.5%	13.6%	0.0%	
農家の庭先	3	3	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0
		100.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	
その他	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		100.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	28	28	23	2	1	6	5	3	0	2	3	0	1	5
		100.0%												

※ 各購入先における市内外産農産物の消費割合は以下の通り仮定した。

	八千代市産	市外産
スーパー(通常の売り場)	0%	100%
スーパー(地場野菜コーナー)	20%	80%
ネットスーパー・宅配販売・生協	0%	100%
直売所・道の駅	70%	30%
八百屋・青果店	10%	90%
コンビニ・ドラッグストア	0%	100%
百貨店	0%	100%
農家の庭先	100%	0%
その他	0%	100%

※ 最も利用する購入先以外の消費額の推計には、問6 農産物を購入する店舗の割合と上記の各購入先別市内外産割合をかけあわせた数値を用いた。

問6 農産物を購入する店舗 ※無回答を除く割合を使用

	回答数	比率
スーパー(通常の売り場)	445	35.5%
スーパー(地場野菜コーナー)	273	21.8%
直売所・道の駅	207	16.5%
ネットスーパー・宅配販売・生協	98	7.8%
八百屋・青果店	84	6.7%
コンビニ・ドラッグストア	70	5.6%
農家の庭先	38	3.0%
百貨店	24	1.9%
その他	14	1.1%
無回答	8	
無回答を除く合計	1253	100.0%
合計	1261	
n	485	

➤ 計算結果

<八千代市産>

スーパー(地場野菜コーナー) 20%×21.8%

直売所・道の駅 70%×16.5%

八百屋・青果店 10%×6.7%

農家の庭先 100%×3.0%

合計 19.6%

<市外産>

1-19.6%=80.4%

◇ 推計結果

消費額の推計では、全体として八千代市産が12%、市外産が88%という結果になった。

スーパー（地場野菜コーナー）や直売所・道の駅、農家の庭先では比較的八千代市産の消費額の割合は高いが、それらの購入先を主としている世帯の割合はそれぞれ8%、4%、1%と低く、今後こういった購入先への消費者の誘導の強化により八千代市産農産物の消費拡大が図られる可能性が示される。

消費額(万円)

主な購入先	世帯数		合計消費額	市内外産の内訳		
全体	89,887	100%	1,020,928	八千代市産	121,463	12%
				市外産	899,465	88%
スーパー(通常の売り場)	70,415	78%	799,764	八千代市産	73,387	9%
				市外産	726,376	91%
スーパー(地場野菜コーナー)	7,278	8%	82,657	八千代市産	16,349	20%
				市外産	66,308	80%
百貨店	787	1%	8,936	八千代市産	818	9%
				市外産	8,118	91%
八百屋・青果店	1,967	2%	22,340	八千代市産	3,261	15%
				市外産	19,078	85%
直売所・道の駅	3,147	4%	35,744	八千代市産	17,338	49%
				市外産	18,406	51%
コンビニ・ドラッグストア	983	1%	11,170	八千代市産	1,008	9%
				市外産	10,162	91%
ネットスーパー・宅配販売・生協	4,524	5%	51,381	八千代市産	4,263	8%
				市外産	47,119	92%
農家の庭先	590	1%	6,702	八千代市産	4,906	73%
				市外産	1,796	27%
その他	197	0%	2,234	八千代市産	132	6%
				市外産	2,102	94%

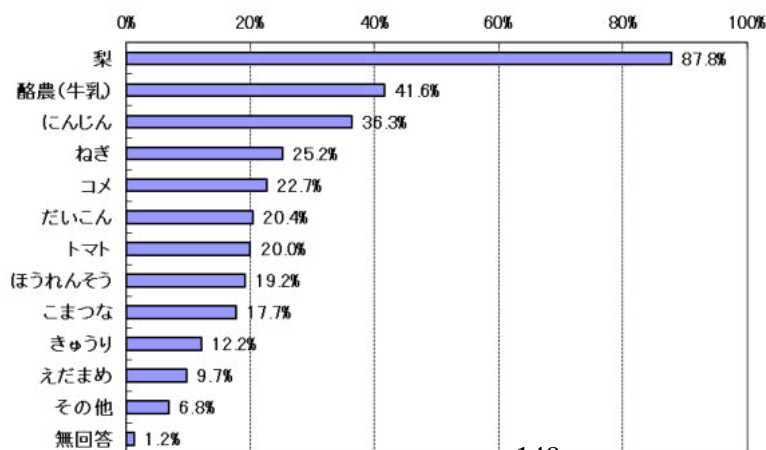
問7. 八千代市の農産物で思い浮かぶもの（複数回答）

「梨」が87.8%と最も多く、次いで「酪農（牛乳）」が41.6%と多くみられた。
 年齢別クロス集計では、「～20代」と「30代」の層では全ての品目で全体の割合を下回っているのに対して、「70代」と「80歳以上」ではほとんど全ての品目で全体の割合以上の割合となった。
 居住地別クロス集計では、「農村ゾーン」では全ての品目で全体の割合を上回っている。「混在ゾーン」と「市街地ゾーン」では大きな差異はみられないが、「市街地ゾーン」では「にんじん」と「酪農（牛乳）」の割合が高い。

	回答数	比率
梨	426	87.8%
酪農(牛乳)	202	41.6%
にんじん	176	36.3%
ねぎ	122	25.2%
コメ	110	22.7%
だいこん	99	20.4%
トマト	97	20.0%
ほうれんそう	93	19.2%
こまつな	86	17.7%
きゅうり	59	12.2%
えだまめ	47	9.7%
その他	33	6.8%
無回答	6	1.2%
合計	1556	-
n	485	

その他	
ピーナッツ(落花生)	8
キャベツ	3
さつまいも	3
里芋	3
なす	3
レタス	3
いちご	3
キウイ	2
玉葱	2
ブロッコリー	2
ブルーベリー	2
ウコン	1
カブ	1
カボチャ	1
キクラゲ	1
牛肉	1
シイタケ	1
ジャガイモ	1
白ウリ	1
そば	1
菜の花	1
白菜	1
ブドウ	1
みそ	1
もち	1
モロヘイヤ	1
千葉県ならあるが八千代市ではなし	1
記憶なし	1
すみません。わかりません	1
思い浮かばない	2
無回答	4
	58

問7. 八千代市といえほどのような農産物を思い浮かべますか。(n=485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	コメ	にんじん	ねぎ	だいこん	ほうれんそう	こまつな	梨	えだまめ	トマト	きゅうり	酪農(牛乳)	その他	無回答
全体	485	1556	110	176	122	99	93	86	426	47	97	59	202	33	6
		321%	23%	36%	25%	20%	19%	18%	88%	10%	20%	12%	42%	7%	1%
～20代	31	63	6	10	2	1	2	2	25	1	1	0	10	3	0
		203%	19%	32%	6%	3%	6%	6%	81%	3%	3%	0%	32%	10%	0%
30代	50	95	8	6	5	2	3	5	40	2	3	2	15	2	2
		190%	16%	12%	10%	4%	6%	10%	80%	4%	6%	4%	30%	4%	4%
40代	82	207	19	25	13	8	6	8	70	3	7	4	37	6	1
		252%	23%	30%	16%	10%	7%	10%	85%	4%	9%	5%	45%	7%	1%
50代	101	281	17	29	25	15	11	14	89	7	13	5	48	7	1
		278%	17%	29%	25%	15%	11%	14%	88%	7%	13%	5%	48%	7%	1%
60代	85	280	15	31	19	21	20	18	73	8	20	10	38	5	2
		329%	18%	36%	22%	25%	24%	21%	86%	9%	24%	12%	45%	6%	2%
70代	98	448	33	56	40	34	35	29	94	15	36	25	43	8	0
		457%	34%	57%	41%	35%	36%	30%	96%	15%	37%	26%	44%	8%	0%
80歳以上	36	176	12	18	17	17	15	10	33	11	17	13	11	2	0
		489%	33%	50%	47%	47%	42%	28%	92%	31%	47%	36%	31%	6%	0%
無回答	2	6	0	1	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0
		300%	0%	50%	50%	50%	50%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	コメ	にんじん	ねぎ	だいこん	ほうれんそう	こまつな	梨	えだまめ	トマト	きゅうり	酪農(牛乳)	その他	無回答
全体	485	1556	110	176	122	99	93	86	426	47	97	59	202	33	6
		321%	23%	36%	25%	20%	19%	18%	88%	10%	20%	12%	42%	7%	1%
農村ゾーン	21	96	8	8	7	8	7	6	19	4	9	8	9	3	0
		457%	38%	38%	33%	38%	33%	29%	90%	19%	43%	38%	43%	14%	0%
混在ゾーン	133	416	35	39	32	22	26	24	120	17	26	17	47	11	0
		313%	26%	29%	24%	17%	20%	18%	90%	13%	20%	13%	35%	8%	0%
市街地ゾーン	328	1033	66	127	81	68	59	56	284	26	62	34	145	19	6
		315%	20%	39%	25%	21%	18%	17%	87%	8%	19%	10%	44%	6%	2%
無回答	3	11	1	2	2	1	1	0	3	0	0	0	1	0	0
		367%	33%	67%	67%	33%	33%	0%	100%	0%	0%	0%	33%	0%	0%

問8. 農産物を購入する際に重視すること（複数回答）

「鮮度」が82.7%と最も多く、次いで「価格」が67.0%、「千葉県産・国産」が62.5%と多くみられた。

年齢別クロス集計では、「40代」以下の層は「価格」、「色・形などの見た目」を、「50代」以上の層は「八千代市産」、「無農薬・減農薬」を重視する傾向がみられた。

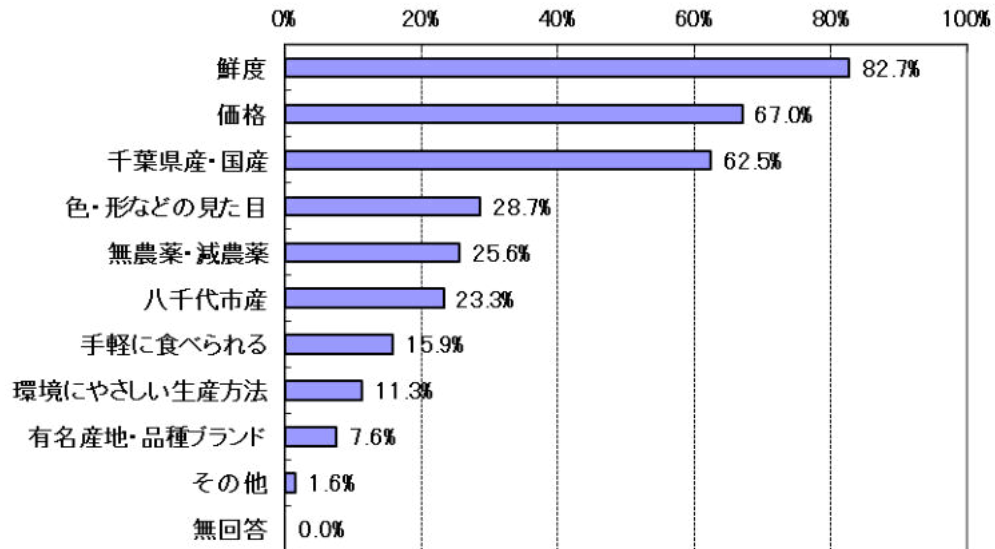
居住地別クロス集計では、「農村ゾーン」で「鮮度」、「色・形などの見た目」、「価格」を重視する割合が低い。

	回答数	比率
鮮度	401	82.7%
価格	325	67.0%
千葉県産・国産	303	62.5%
色・形などの見た目	139	28.7%
無農薬・減農薬	124	25.6%
八千代市産	113	23.3%
手軽に食べられる	77	15.9%
環境にやさしい生産方法	55	11.3%
有名産地・品種ブランド	37	7.6%
その他	8	1.6%
無回答	0	0.0%
合計	1582	-
n	485	

その他

国産
味
なるべく関東・東北以外の産地であること(放射能汚染されていない野菜が望ましい)。
中国産はなるべく買わない
生産者
形は栄養や味に変わらない。無農薬、減農薬は気になるが、見分けられない。
無回答 …2件

問8. 農産物を購入する際に、どのような点を重視しますか。(n=485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	八千代市産	千葉県産・国産	環境にやさしい生産方法	鮮度	有名産地・品種ブランド	無農薬・減農薬	色・形などの見た目	価格	手軽に食べられる	その他	無回答
全体	485	1582	113	303	55	401	37	124	139	325	77	8	0
		326%	23%	62%	11%	83%	8%	26%	29%	67%	16%	2%	0%
～20代	31	93	3	15	2	23	2	4	14	25	5	0	0
		300%	10%	48%	6%	74%	6%	13%	45%	81%	16%	0%	0%
30代	50	164	4	31	6	36	7	8	21	38	11	2	0
		328%	8%	62%	12%	72%	14%	16%	42%	76%	22%	4%	0%
40代	82	256	13	42	3	67	9	13	32	63	13	1	0
		312%	16%	51%	4%	82%	11%	16%	39%	77%	16%	1%	0%
50代	101	341	27	69	13	85	4	28	30	70	14	1	0
		338%	27%	68%	13%	84%	4%	28%	30%	69%	14%	1%	0%
60代	85	275	20	56	11	71	10	27	17	51	11	1	0
		324%	24%	66%	13%	84%	12%	32%	20%	60%	13%	1%	0%
70代	98	325	33	64	12	90	2	33	19	58	12	2	0
		332%	34%	65%	12%	92%	2%	34%	19%	59%	12%	2%	0%
80歳以上	36	121	12	24	8	28	3	10	6	18	11	1	0
		336%	33%	67%	22%	78%	8%	28%	17%	50%	31%	3%	0%
無回答	2	7	1	2	0	1	0	1	0	2	0	0	0
		350%	50%	100%	0%	50%	0%	50%	0%	100%	0%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

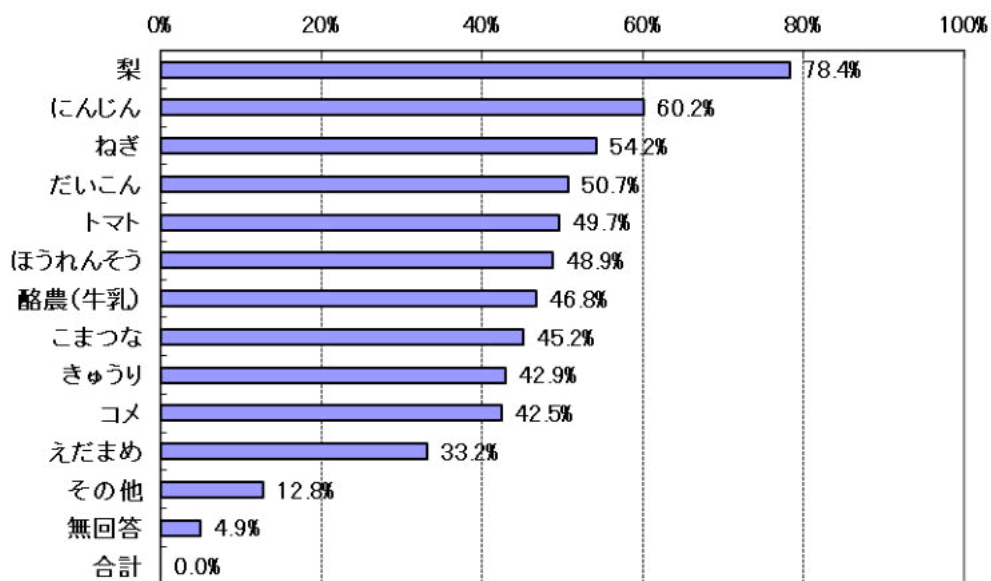
	n	合計	八千代市産	千葉県産・国産	環境にやさしい生産方法	鮮度	有名産地・品種ブランド	無農薬・減農薬	色・形などの見た目	価格	手軽に食べられる	その他	無回答
全体	485	1582	113	303	55	401	37	124	139	325	77	8	0
		326%	23%	62%	11%	83%	8%	26%	29%	67%	16%	2%	0%
農村ゾーン	21	61	6	11	3	14	3	7	1	11	4	1	0
		290%	29%	52%	14%	67%	14%	33%	5%	52%	19%	5%	0%
混在ゾーン	133	443	32	84	17	111	9	31	41	93	23	2	0
		333%	24%	63%	13%	83%	7%	23%	31%	70%	17%	2%	0%
市街地ゾーン	328	1068	74	205	35	274	25	85	97	218	50	5	0
		326%	23%	63%	11%	84%	8%	26%	30%	66%	15%	2%	0%
無回答	3	10	1	3	0	2	0	1	0	3	0	0	0
		333%	33%	100%	0%	67%	0%	33%	0%	100%	0%	0%	0%

問9. 農産物を購入する場所で見たとことのある八千代市産農産物について（複数回答）

「梨」が78.4%と最も多く、次いで「にんじん」が60.2%、「ねぎ」が54.2%と多くみられた。
 年齢別クロス集計では、「～20代」と「30代」では全ての品目で全体の割合を下回っており、「40代」以上から全体的に割合が高くなっていく傾向がみられた。
 居住地別クロス集計では、地域による大きな差異は認められないが、「農村ゾーン」では多くで比較的高い割合がみられた。

	回答数	比率
梨	380	78.4%
にんじん	292	60.2%
ねぎ	263	54.2%
だいこん	246	50.7%
トマト	241	49.7%
ほうれんそう	237	48.9%
酪農(牛乳)	227	46.8%
こまつな	219	45.2%
きゅうり	208	42.9%
コメ	206	42.5%
えだまめ	161	33.2%
その他	62	12.8%
無回答	24	4.9%
合計	2766	-
n	485	

問9. 買い物を行う方が農産物を購入する場所で見たとことのある八千代市産農産物について (n=485)



その他	
いちご	8
さつまいも	7
なし(無し)	7
ナス	7
キウイ	6
ブロッコリー	6
白菜	5
キャベツ	4
とうもろこし	4
かぶ	3
さといも	3
しいたけ	3
落花生、ピーナッツ	3
くり	2
じゃがいも	2
ピーマン	2
レタス	2
玉葱、たまねぎ	2
フキ、ふき	2
いちじく	1
イモ類	1
ウコン	1
オクラ	1
おもち	1
カキ	1
カボチャ	1
からし菜	1
キクラゲ	1
牛肉	1
クウシン菜	1
ごぼう	1
サラダ菜	1
ししとう	1
しょうが	1
新ショウガ	1
ターサイ	1
高菜	1
たけのこ	1
チンゲン菜	1
とうがらし	1
とうがん	1
パクチー	1
ブドウ	1
ブルーベリー	1
他薬物	1
みそ	1
モロヘイヤ	1
ヤーコン	1
ユズ	1
リーフレタス	1
白ウリ	1
菜の花	1
わからない	1
千葉県ならあるが八千代市ではなし	1
八千代市産を意識しない千葉だと買う	1
スーパーではあまり八千代市産はないと思います	1
スーパーには八千代市産を扱っていない	1
市内産か分からない	1
記憶なし	1
気にしたことがない	1
無回答	6
	125

<年齢別・クロス集計>

	n	合計	コメ	にんじん	ねぎ	だいこん	ほうれんそう	こまつな	梨	えだまめ	トマト	きゅうり	酪農（牛乳）	その他	無回答
全体	485	2766	206	292	263	246	237	219	380	161	241	208	227	62	24
		570%	42%	60%	54%	51%	49%	45%	78%	33%	50%	43%	47%	13%	5%
～20代	31	118	10	16	10	7	7	6	20	6	9	8	11	6	2
		381%	32%	52%	32%	23%	23%	19%	65%	19%	29%	26%	35%	19%	6%
30代	50	220	20	24	19	16	17	19	31	14	15	15	17	7	6
		440%	40%	48%	38%	32%	34%	38%	62%	28%	30%	30%	34%	14%	12%
40代	82	481	35	52	44	39	40	37	63	31	44	34	49	8	5
		587%	43%	63%	54%	48%	49%	45%	77%	38%	54%	41%	60%	10%	6%
50代	101	610	41	61	63	53	58	50	84	40	53	46	48	11	2
		604%	41%	60%	62%	52%	57%	50%	83%	40%	52%	46%	48%	11%	2%
60代	85	503	35	53	48	50	45	43	65	24	44	39	39	13	5
		592%	41%	62%	56%	59%	53%	51%	76%	28%	52%	46%	46%	15%	6%
70代	98	599	49	60	56	55	51	46	84	33	54	46	47	14	4
		611%	50%	61%	57%	56%	52%	47%	86%	34%	55%	47%	48%	14%	4%
80歳以上	36	219	15	24	21	24	17	17	32	12	20	19	15	3	0
		608%	42%	67%	58%	67%	47%	47%	89%	33%	56%	53%	42%	8%	0%
無回答	2	16	1	2	2	2	2	1	1	1	2	1	1	0	0
		800%	50%	100%	100%	100%	100%	50%	50%	50%	100%	50%	50%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	コメ	にんじん	ねぎ	だいこん	ほうれんそう	こまつな	梨	えだまめ	トマト	きゅうり	酪農（牛乳）	その他	無回答
全体	485	2766	206	292	263	246	237	219	380	161	241	208	227	62	24
		570%	42%	60%	54%	51%	49%	45%	78%	33%	50%	43%	47%	13%	5%
農村ゾーン	21	140	14	13	13	12	10	10	18	9	14	12	9	5	1
		667%	67%	62%	62%	57%	48%	48%	86%	43%	67%	57%	43%	24%	5%
混在ゾーン	133	765	54	75	74	66	65	62	110	50	69	55	61	17	7
		575%	41%	56%	56%	50%	49%	47%	83%	38%	52%	41%	46%	13%	5%
市街地ゾーン	328	1833	136	201	173	165	159	145	250	100	155	139	155	39	16
		559%	41%	61%	53%	50%	48%	44%	76%	30%	47%	42%	47%	12%	5%
無回答	3	28	2	3	3	3	3	2	2	2	3	2	2	1	0
		933%	67%	100%	100%	100%	100%	67%	67%	67%	100%	67%	67%	33%	0%

問10. 八千代市産農産物の購入状況について（複数回答）

「あれば購入している」が47.0%で最も多く、次いで「特に気にしていない」が36.1%と多くみられた。購入したいが購入に至っていない層は計29.7%みられた。

年齢別クロス集計では、「～20代」と「30代」で「特に気にしていない」が多く、「50代」以上で「あれば購入している」の割合が高くなる傾向がみられた。購入したいが購入に至っていない層は「40代」以上で多数みられた。

居住地別クロス集計では、「農村ゾーン」で「積極的に購入している」の割合が高い。また、「混在ゾーン」、「市街地ゾーン」で「購入したいが、八千代市産かわからない」、「購入したいが、近くに売っていない」という層が一定数存在している。詳細地区では、「勝田台」や「八千代台東」で「積極的に購入している」割合が高い一方で、「大和田新田」、「村上」、「八千代台北」では購入したいが購入に至っていない層の割合が高かった。

最も利用する店舗別クロス集計では、「スーパー（地場野菜コーナー）」と「直売所・道の駅」で「積極的に購入している」と「あれば購入している」の割合が高く、「八百屋・青果店」では購入したいが購入に至っていない層が多くみられた。

購入時に重視すること別クロス集計では、「八千代市産」、「環境に優しい生産方法」を重視する層は「積極的に購入している」、「あれば購入している」の割合が高く、「色・形などの見た目」を重視する層は「特に気にしていない」の割合が高い。また、「鮮度」を重視する層に、購入したいが購入に至っていない回答や「特に気にしていない」「積極的に購入する考えはない」の回答が多くみられた。

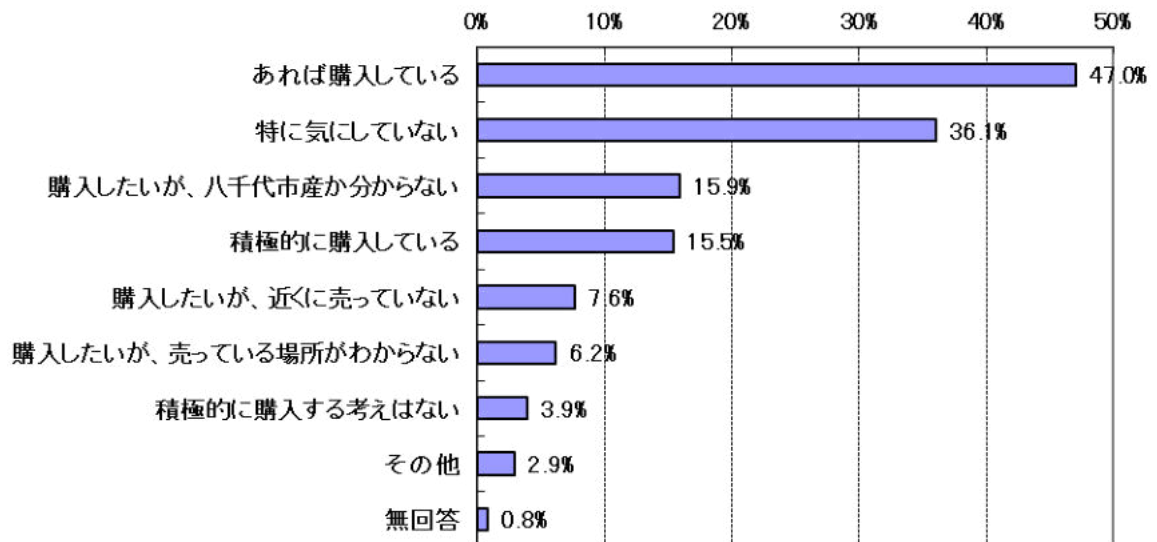
購入したいが購入に至っていない層は「八百屋・青果店」を主に利用しており、八千代市産農産物の主な購入場所となっている「スーパー（地場野菜コーナー）」や「直売所・道の駅」が認知されていないため、利用が少ないことが考えられる。

	回答数	比率
あれば購入している	228	47.0%
特に気にしていない	175	36.1%
購入したいが、八千代市産かわからない	77	15.9%
積極的に購入している	75	15.5%
購入したいが、近くに売っていない	37	7.6%
購入したいが、売っている場所がわからない	30	6.2%
積極的に購入する考えはない	19	3.9%
その他	14	2.9%
無回答	4	0.8%
合計	659	-
n	485	

その他

安い時
ピーナッツ
場所が小さい
農薬や化学肥料を使っていないものがあれば買いたいです
千葉県のものとして購入している
他の農産物より少しでも安ければ買う。
スーパーで八千代産をあまり見かけない
購入場所が遠い
家庭菜園をやっているのでほとんど野菜は買わない
価格とのバランス良ければ
以前は道の駅や農協によく行っていたが、年齢と共に近くで。
無回答 …3件

問10. ご家庭での八千代市産農産物の購入状況について (n= 485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	積極的に購入している	あれば購入している	購入したいが、近くに売っていない	購入したいが、売っている場所がわからない	購入したいが、八千代市産か分からない	積極的に購入する考えはない	特に気にしていない	その他	無回答
全体	485	659	75	228	37	30	77	19	175	14	4
		136%	15%	47%	8%	6%	16%	4%	36%	3%	1%
～20代	31	33	3	9	0	1	2	1	17	0	0
		106%	10%	29%	0%	3%	6%	3%	55%	0%	0%
30代	50	57	2	15	0	1	7	3	27	1	1
		114%	4%	30%	0%	2%	14%	6%	54%	2%	2%
40代	82	96	8	29	8	6	13	0	30	2	0
		117%	10%	35%	10%	7%	16%	0%	37%	2%	0%
50代	101	130	12	56	6	3	12	6	32	3	0
		129%	12%	55%	6%	3%	12%	6%	32%	3%	0%
60代	85	115	14	43	5	6	13	3	28	1	2
		135%	16%	51%	6%	7%	15%	4%	33%	1%	2%
70代	98	160	25	56	12	8	18	5	30	5	1
		163%	26%	57%	12%	8%	18%	5%	31%	5%	1%
80歳以上	36	66	11	19	6	5	11	1	11	2	0
		183%	31%	53%	17%	14%	31%	3%	31%	6%	0%
無回答	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0
		100%	0%	50%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	積極的に購入している	あれば購入している	購入したいが、近くに売っていない	購入したいが、売っている場所がわからない	購入したいが、八千代市産か分からない	積極的に購入する考えはない	特に気にしていない	その他	無回答
全体	485	659	75	228	37	30	77	19	175	14	4
		136%	15%	47%	8%	6%	16%	4%	36%	3%	1%
農村ゾーン	21	31	5	10	1	1	3	1	9	1	0
		148%	24%	48%	5%	5%	14%	5%	43%	5%	0%
混在ゾーン	133	173	21	64	13	3	24	3	41	4	0
		130%	16%	48%	10%	2%	18%	2%	31%	3%	0%
市街地ゾーン	328	452	49	153	23	26	49	15	124	9	4
		138%	15%	47%	7%	8%	15%	5%	38%	3%	1%
無回答	3	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0
		100%	0%	33%	0%	0%	33%	0%	33%	0%	0%

詳細地区

	n	合計	積極的に購入している	あれば購入している	購入したいが、近くに売っていない	購入したいが、売っている場所がわからない	購入したいが、八千代市産からではない	積極的に購入する考えはない	特に気にしていない	その他	無回答
全体	485	659	75	228	37	30	77	19	175	14	4
		136%	15%	47%	8%	6%	16%	4%	36%	3%	1%
神久保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大和田	21	28	0	7	1	3	6	2	8	0	1
		133%	0%	33%	5%	14%	29%	10%	38%	0%	5%
大和田新田	74	105	13	37	8	9	11	1	26	0	0
		142%	18%	50%	11%	12%	15%	1%	35%	0%	0%
尾崎	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0
		200%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
勝田	7	9	1	2	0	0	3	0	3	0	0
		129%	14%	29%	0%	0%	43%	0%	43%	0%	0%
勝田台	37	45	8	17	0	3	2	1	13	0	1
		122%	22%	46%	0%	8%	5%	3%	35%	0%	3%
勝田台北	7	8	2	3	0	0	2	0	1	0	0
		114%	29%	43%	0%	0%	29%	0%	14%	0%	0%
勝田台南	6	9	0	4	0	1	1	0	3	0	0
		150%	0%	67%	0%	17%	17%	0%	50%	0%	0%
神野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
上高野	24	31	5	11	4	0	4	1	5	1	0
		129%	21%	46%	17%	0%	17%	4%	21%	4%	0%
萱田	11	13	1	6	1	0	2	1	2	0	0
		118%	9%	55%	9%	0%	18%	9%	18%	0%	0%
萱田町	12	15	1	6	0	0	0	1	7	0	0
		125%	8%	50%	0%	0%	0%	8%	58%	0%	0%
桑納	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
小池	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
佐山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田台	3	5	1	2	0	0	0	0	2	0	0
		167%	33%	67%	0%	0%	0%	0%	67%	0%	0%
下市場	4	5	1	3	0	0	0	0	1	0	0
		125%	25%	75%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	0%
下高野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
桑橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
高津	31	43	4	22	2	1	4	1	7	1	1
		139%	13%	71%	6%	3%	13%	3%	23%	3%	3%
高津東	7	9	1	2	0	1	2	0	2	1	0
		129%	14%	29%	0%	14%	29%	0%	29%	14%	0%
大学町	3	4	0	2	0	0	0	1	1	0	0
		133%	0%	67%	0%	0%	0%	33%	33%	0%	0%
平戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
保品	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%
堀の内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
真木野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
緑が丘	23	32	4	9	1	1	2	2	12	1	0
		139%	17%	39%	4%	4%	9%	9%	52%	4%	0%
緑が丘西	17	17	2	4	0	0	3	0	8	0	0
		100%	12%	24%	0%	0%	18%	0%	47%	0%	0%
麦丸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
村上	45	66	8	24	5	3	11	0	13	2	0
		147%	18%	53%	11%	7%	24%	0%	29%	4%	0%
村上南	14	19	0	8	1	0	0	3	6	1	0
		136%	0%	57%	7%	0%	0%	21%	43%	7%	0%
八千代台北	31	42	4	11	4	3	8	0	11	1	0
		135%	13%	35%	13%	10%	26%	0%	35%	3%	0%
八千代台西	11	18	1	5	1	0	2	1	6	1	1
		164%	9%	45%	9%	0%	18%	9%	55%	9%	9%
八千代台東	29	45	6	12	2	2	4	2	16	1	0
		155%	21%	41%	7%	7%	14%	7%	55%	3%	0%
八千代台南	14	20	3	5	3	2	2	1	2	2	0
		143%	21%	36%	21%	14%	14%	7%	14%	14%	0%
ゆりのき台	35	44	4	18	3	0	4	1	13	1	0
		126%	11%	51%	9%	0%	11%	3%	37%	3%	0%
吉橋	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		200%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
米本	11	17	3	5	1	1	3	0	4	0	0
		155%	27%	45%	9%	9%	27%	0%	36%	0%	0%
無回答	3	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0
		100%	0%	33%	0%	0%	33%	0%	33%	0%	0%

<最も利用する店舗別・クロス集計>

	n	合計	積極的に購入している	あれば購入している	購入したいが、近くに売っていない	購入したいが、売っている場所がわからない	購入したいが、八千代市産か分からない	積極的に購入する考えはない	特に気にしていない	その他	無回答
全体	1261	1720	219	657	98	69	173	39	424	32	9
		136%	17%	52%	8%	5%	14%	3%	34%	3%	1%
スーパー(通常の売り場)	445	605	59	211	34	27	69	18	174	10	3
		136%	13%	47%	8%	6%	16%	4%	39%	2%	1%
スーパー(地場野菜コーナー)	273	370	51	155	20	12	32	6	86	6	2
		136%	19%	57%	7%	4%	12%	2%	32%	2%	1%
百貨店	24	31	7	11	1	1	2	1	7	1	0
		129%	29%	46%	4%	4%	8%	4%	29%	4%	0%
八百屋・青果店	84	123	12	43	8	6	16	3	31	3	1
		146%	14%	51%	10%	7%	19%	4%	37%	4%	1%
直売所・道の駅	207	285	51	125	17	8	19	4	57	3	1
		138%	25%	60%	8%	4%	9%	2%	28%	1%	0%
コンビニ・ドラッグストア	70	93	8	31	4	5	8	3	32	2	0
		133%	11%	44%	6%	7%	11%	4%	46%	3%	0%
ネットスーパー・宅配販売・生協	98	123	14	49	6	6	13	3	26	5	1
		126%	14%	50%	6%	6%	13%	3%	27%	5%	1%
農家の庭先	38	57	12	23	4	2	6	0	9	0	1
		150%	32%	61%	11%	5%	16%	0%	24%	0%	3%
その他	14	23	3	7	3	1	5	1	2	1	0
		164%	21%	50%	21%	7%	36%	7%	14%	7%	0%
無回答	8	10	2	2	1	1	3	0	0	1	0
		125%	25%	25%	13%	13%	38%	0%	0%	13%	0%

<農産物の購入時重視する点別・クロス集計>

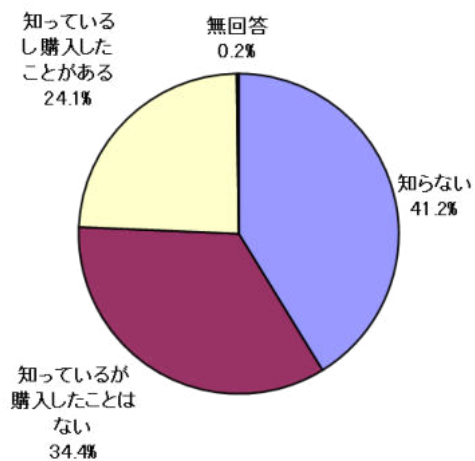
	n	合計	積極的に購入している	あれば購入している	購入したいが、近くに売っていない	購入したいが、売っている場所がわからない	購入したいが、八千代市産か分からない	積極的に購入する考えはない	特に気にしていない	その他	無回答
全体	1582	2269	292	832	151	96	262	59	522	43	12
		143%	18%	53%	10%	6%	17%	4%	33%	3%	1%
八千代市産	113	182	52	79	15	8	14	2	8	3	1
		161%	46%	70%	13%	7%	12%	2%	7%	3%	1%
千葉県産・国産	303	437	50	174	31	19	54	10	88	8	3
		144%	17%	57%	10%	6%	18%	3%	29%	3%	1%
環境にやさしい生産方法	55	90	15	40	7	4	10	2	9	3	0
		164%	27%	73%	13%	7%	18%	4%	16%	5%	0%
鮮度	401	558	65	201	34	26	65	15	140	10	2
		139%	16%	50%	8%	6%	16%	4%	35%	2%	0%
有名産地・品種ブランド	37	57	8	21	4	2	9	2	11	0	0
		154%	22%	57%	11%	5%	24%	5%	30%	0%	0%
無農薬・減農薬	124	188	30	82	15	6	20	2	27	5	1
		152%	24%	66%	12%	5%	16%	2%	22%	4%	1%
色・形などの見た目	139	189	21	53	10	7	20	6	68	3	1
		136%	15%	38%	7%	5%	14%	4%	49%	2%	1%
価格	325	438	36	142	25	19	50	16	139	8	3
		135%	11%	44%	8%	6%	15%	5%	43%	2%	1%
手軽に食べられる	77	119	13	37	9	5	19	3	32	0	1
		155%	17%	48%	12%	6%	25%	4%	42%	0%	1%
その他	8	11	2	3	1	0	1	1	0	3	0
		138%	25%	38%	13%	0%	13%	13%	0%	38%	0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

問 1 1. 八千代市産農産物を使用した加工品の浸透度について（複数回答）

「知らない」が 41.2%と最も多く、次いで「知っているが購入したことはない」が 34.4%と多かった。
 年齢別クロス集計では、「～20代」と「30代」で「知らない」の割合が特に高い。
 居住地別クロス集計では、「農村ゾーン」で「知っているが購入したことはない」が、「市街地ゾーン」
 で「知らない」が高い割合となった。

	回答数	比率
知らない	200	41.2%
知っているが購入したことはない	167	34.4%
知っているし購入したことがある	117	24.1%
無回答	1	0.2%
合計	485	100.0%

問11. 八千代市の市内産農産物を使用した加工品について (n=485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	ある 知っている し購入 したことが	ない 知っている が購入 したことは	知らない	無 回答
全体	485	485	117	167	200	1
		100%	24%	34%	41%	0%
～ 20代	31	31	6	6	19	0
		100%	19%	19%	61%	0%
30代	50	50	7	11	32	0
		100%	14%	22%	64%	0%
40代	82	82	15	30	37	0
		100%	18%	37%	45%	0%
50代	101	101	28	37	35	1
		100%	28%	37%	35%	1%
60代	85	85	20	38	27	0
		100%	24%	45%	32%	0%
70代	98	98	31	31	36	0
		100%	32%	32%	37%	0%
80歳以上	36	36	9	13	14	0
		100%	25%	36%	39%	0%
無回答	2	2	1	1	0	0
		100%	50%	50%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	ある 知っている し購入 したことが	ない 知っている が購入 したことは	知らない	無 回答
全体	485	485	117	167	200	1
		100%	24%	34%	41%	0%
農村ゾーン	21	21	6	9	6	0
		100%	29%	43%	29%	0%
混在ゾーン	133	133	37	44	51	1
		100%	28%	33%	38%	1%
市街地ゾーン	328	328	72	113	143	0
		100%	22%	34%	44%	0%
無回答	3	3	2	1	0	0
		100%	67%	33%	0%	0%

Ⅲ 農家・農業との関わりについて

問 1 2. 現状の八千代市の農業との関わりについて（複数回答）

「直売所等で市内産農産物を購入する」が 46.0%で最も多く、次いで「特になし」が 40.2%と多かった。

年齢別クロス集計では、「50 代」以上の層で「直売場等で市内産農産物を購入する」の割合が高く、「40 代」以下では「特になし」の割合が高い。

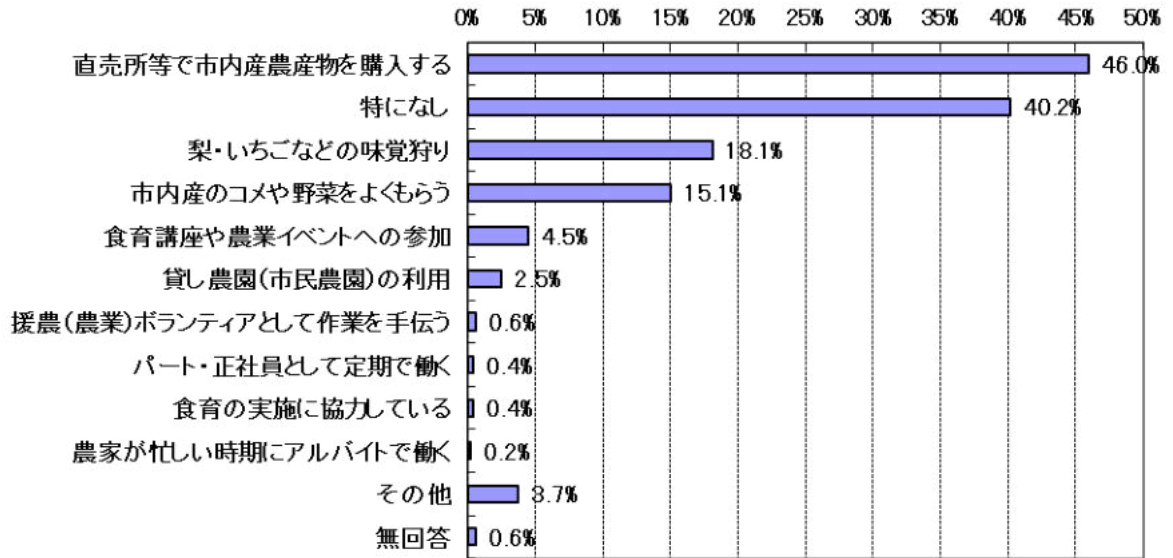
居住地別クロス集計では、「混在ゾーン」で「梨・いちごなどの味覚狩り」の割合が高い。詳細地区では、「八千代台北」で「直売所等で市内産農産物を購入する」の割合が低く、「大和田」で「特になし」の割合が高い。

	回答数	比率
直売所等で市内産農産物を購入する	223	46.0%
特になし	195	40.2%
梨・いちごなどの味覚狩り	88	18.1%
市内産のコメや野菜をよくもらう	73	15.1%
食育講座や農業イベントへの参加	22	4.5%
貸し農園(市民農園)の利用	12	2.5%
援農(農業)ボランティアとして作業を手伝う	3	0.6%
パート・正社員として定期で働く	2	0.4%
食育の実施に協力している	2	0.4%
農家が忙しい時期にアルバイトで働く	1	0.2%
その他	18	3.7%
無回答	3	0.6%
合計	642	-
n	485	

その他

施設でボランティアとして農作業を手伝う、家庭菜園をしている
道の駅
夫が借りた農地
農家です 2.3お待ちしています 9よくあげています
市内福祉施設(知障)に勤めていて農園芸班があり所属していたこともあるし、採れた作物を食品班で加工して販売したりしていた(現在は他部署)。
中元に梨農園より出荷してもらっている。
お中元で梨を送る。
イオン緑が丘、なし、イベントに参加など。
幼稚園で大根堀りやさつま芋堀りがあり、その時にもらってくるくらい。
農園を貸している。
畑を知人から借り、じゃがいもを作り食べている。
少しの家庭菜園をしている。
道の駅へ行きたいが、交通の便が悪くて行けない。
近所の農家からたまに買う
友人に農家が多い
市内で教職員として、食育(社会科、家庭科、学活)に取り組んでいる。
毎年同じ梨農園さんから親戚へ梨を送っている
無回答

問12. あなたは、現在、どのようなことで八千代市の農業とかかわりがありますか。(n=485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	直売所等で市内産農産物を購入する	援農(農業)ボランティアとして作業を手伝う	農家が忙しい時期にアルバイトで働く	パート・正社員として定期で働く	貸し農園(市民農園)の利用	梨・いちごなどの味覚狩り	参加食育講座や農業イベントへの	食育の実施に協力している	市内産のコメや野菜をよくもらう	特になし	その他	無回答
全体	485	642	223	3	1	2	12	88	22	2	73	195	18	3
		132%	46%	1%	0%	0%	2%	18%	5%	0%	15%	40%	4%	1%
～20代	31	34	4	0	0	0	0	5	0	1	1	23	0	0
		110%	13%	0%	0%	0%	0%	16%	0%	3%	3%	74%	0%	0%
30代	50	66	17	0	0	0	0	11	1	0	12	24	1	0
		132%	34%	0%	0%	0%	0%	22%	2%	0%	24%	48%	2%	0%
40代	82	109	32	0	0	1	1	17	6	0	13	36	3	0
		133%	39%	0%	0%	1%	1%	21%	7%	0%	16%	44%	4%	0%
50代	101	123	50	0	0	0	1	19	3	0	8	38	2	2
		122%	50%	0%	0%	0%	1%	19%	3%	0%	8%	38%	2%	2%
60代	85	118	50	0	1	1	1	12	6	0	14	29	4	0
		139%	59%	0%	1%	1%	1%	14%	7%	0%	16%	34%	5%	0%
70代	98	131	50	2	0	0	4	17	2	0	17	32	6	1
		134%	51%	2%	0%	0%	4%	17%	2%	0%	17%	33%	6%	1%
80歳以上	36	59	19	1	0	0	5	7	4	1	8	12	2	0
		164%	53%	3%	0%	0%	14%	19%	11%	3%	22%	33%	6%	0%
無回答	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	直売所等 で市内産 農産物を購 入する	援農（農業） ボランティアと して作業を手 伝う	農家が忙しい 時期にアルバイ トで働く	パート・正社員 として定期で 働く	貸し農園（市民 農園）の利用	梨・いちごなど の味覚狩り	食育講座や農 業イベントへの 参加	食育の実施に 協力している	市内産のコメ や野菜をよくも らう	特になし	その他	無回答
全体	485	642	223	3	1	2	12	88	22	2	73	195	18	3
		132%	46%	1%	0%	0%	2%	18%	5%	0%	15%	40%	4%	1%
農村ゾーン	21	30	9	0	0	0	0	2	2	0	7	9	1	0
		143%	43%	0%	0%	0%	0%	10%	10%	0%	33%	43%	5%	0%
混在ゾーン	133	174	62	2	0	0	4	30	8	1	13	48	6	0
		131%	47%	2%	0%	0%	3%	23%	6%	1%	10%	36%	5%	0%
市街地ゾーン	328	434	150	1	1	2	8	55	12	1	53	137	11	3
		132%	46%	0%	0%	1%	2%	17%	4%	0%	16%	42%	3%	1%
無回答	3	4	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
		133%	67%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	0%

詳細地区

	n	合計	直売所等で市内産農産物を購入する	援農（農業）ボランティアとして作業を手伝う	農家が忙しい時期にアルバイトで働く	働くパート・正社員として定期で	貸し農園（市民農園）の利用	梨・いちごなどの味覚狩り	食育講座や農業イベントへの参加	食育の実施に協力している	市内産のコメや野菜をよくもらう	特になし	その他	無回答
全体	485	642	223	3	1	2	12	88	22	2	73	195	18	3
		132%	46%	1%	0%	0%	2%	18%	5%	0%	15%	40%	4%	1%
神久保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大和田	21	27	7	0	0	0	0	3	0	0	4	13	0	0
		129%	33%	0%	0%	0%	0%	14%	0%	0%	19%	62%	0%	0%
大和田新田	74	104	35	1	0	1	5	13	6	0	12	30	1	0
		141%	47%	1%	0%	1%	7%	18%	8%	0%	16%	41%	1%	0%
尾崎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
勝田	7	8	1	0	0	0	1	1	0	0	2	3	0	0
		114%	14%	0%	0%	0%	14%	14%	0%	0%	29%	43%	0%	0%
勝田台	37	46	18	0	0	0	1	2	1	0	6	17	1	0
		124%	49%	0%	0%	0%	3%	5%	3%	0%	16%	46%	3%	0%
勝田台北	7	8	4	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0
		114%	57%	0%	0%	0%	0%	14%	0%	0%	14%	29%	0%	0%
勝田台南	6	12	2	0	0	0	1	1	1	0	2	3	2	0
		200%	33%	0%	0%	0%	17%	17%	17%	0%	33%	50%	33%	0%
神野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
上高野	24	34	16	0	0	0	0	7	2	0	2	6	1	0
		142%	67%	0%	0%	0%	0%	29%	8%	0%	8%	25%	4%	0%
萱田	11	13	4	0	0	0	1	3	0	0	1	4	0	0
		118%	36%	0%	0%	0%	9%	27%	0%	0%	9%	36%	0%	0%
萱田町	12	16	6	0	0	0	0	1	0	0	2	6	1	0
		133%	50%	0%	0%	0%	0%	8%	0%	0%	17%	50%	8%	0%
桑納	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
小池	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
佐山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田台	3	6	2	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0
		200%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	67%	33%	0%	0%
下市場	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		100%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	0%	25%
下高野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
桑橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
高津	31	47	20	0	0	1	0	9	0	0	8	6	2	1
		152%	65%	0%	0%	3%	0%	29%	0%	0%	26%	19%	6%	3%
高津東	7	12	3	0	1	0	0	2	0	0	3	2	1	0
		171%	43%	0%	14%	0%	0%	29%	0%	0%	43%	29%	14%	0%
大学町	3	4	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
		133%	33%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	33%	33%	0%	0%
平戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
保品	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		100%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	0%
堀の内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
真木野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
緑が丘	23	24	10	0	0	0	0	1	0	0	1	12	0	0
		104%	43%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	0%	4%	52%	0%	0%
緑が丘西	17	20	6	0	0	0	1	3	1	1	0	7	1	0
		118%	35%	0%	0%	0%	6%	18%	6%	0%	0%	41%	6%	0%
麦丸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
村上	45	62	21	0	0	0	2	10	3	0	5	19	2	0
		138%	47%	0%	0%	0%	4%	22%	7%	0%	11%	42%	4%	0%
村上南	14	19	4	0	0	0	0	2	1	0	3	7	1	1
		136%	29%	0%	0%	0%	0%	14%	7%	0%	21%	50%	7%	7%
八千代台北	31	38	11	0	0	0	0	6	3	0	3	15	0	0
		123%	35%	0%	0%	0%	0%	19%	10%	0%	10%	48%	0%	0%
八千代台西	11	12	3	0	0	0	0	1	0	0	0	7	1	0
		109%	27%	0%	0%	0%	0%	9%	0%	0%	0%	64%	9%	0%
八千代台東	29	40	16	0	0	0	0	8	0	1	5	9	1	0
		138%	55%	0%	0%	0%	0%	28%	0%	3%	17%	31%	3%	0%
八千代台南	14	17	8	0	0	0	0	4	0	0	1	4	0	0
		121%	57%	0%	0%	0%	0%	29%	0%	0%	7%	29%	0%	0%
ゆりのき台	35	44	15	2	0	0	0	7	2	0	5	12	1	0
		126%	43%	6%	0%	0%	0%	20%	6%	0%	14%	34%	3%	0%
吉橋	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%
米本	11	16	5	0	0	0	0	1	1	0	3	5	1	0
		145%	45%	0%	0%	0%	0%	9%	9%	0%	27%	45%	9%	0%
無回答	3	4	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
		133%	67%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	33%	0%	0%

問 1 3. 多面的機能への期待について（複数回答）

「新鮮な農産物の提供」が 85.8%と最も多く、次いで「教育」41.4%、「大気の調整」40.0%が多くみられた。

年齢別クロス集計では、「40 代」以下の層で「教育」の割合が高くみられ、特に「～20 代」では他の項目では全体の割合を下回っている中で顕著に高い傾向がみられた。また、「60 代」以上で「国土の保全」が高い割合となった。

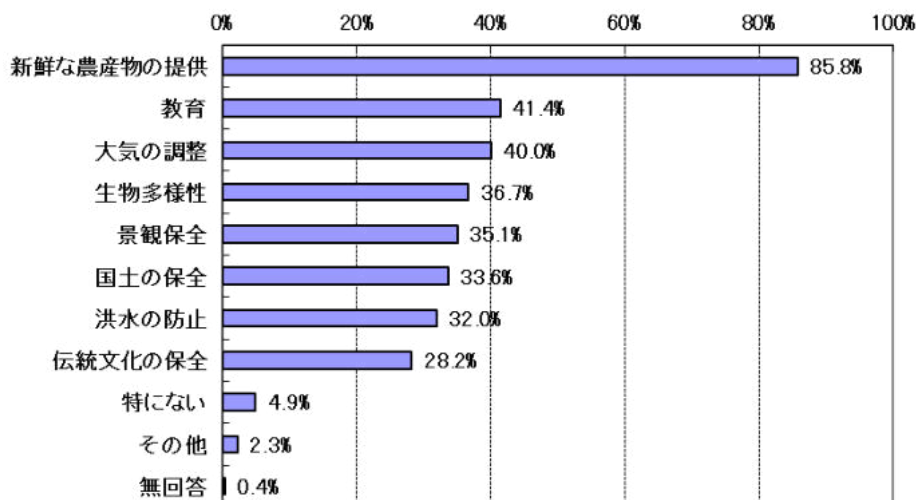
居住地別クロス集計では、「混在ゾーン」と「市街地ゾーン」で全体的に「農村ゾーン」より高い割合が示されたが、特に「新鮮な農産物の提供」、「洪水の防止」、「国土の保全」で割合が高い傾向がみられた。詳細地区では、「大和田」で「新鮮な農産物の提供」の割合が比較的low、「特にない」の割合が高かった。また、「教育」は「緑が丘西」と「八千代台南」で高く、「大気の調整」は「高津」と「八千代台北」で高かった。

	回答数	比率
新鮮な農産物の提供	416	85.8%
教育	201	41.4%
大気の調整	194	40.0%
生物多様性	178	36.7%
景観保全	170	35.1%
国土の保全	163	33.6%
洪水の防止	155	32.0%
伝統文化の保全	137	28.2%
特にない	24	4.9%
その他	11	2.3%
無回答	2	0.4%
合計	1651	-
n	485	

その他

子供の農業体験
道路に拡張
変形した野菜等の売場増 味変わらない
安全な農作物の提供
色々な施設の有効な使い道を考えてほしい
農地管理
八千代市の良さ。農家訪問
老人、高齢者の保全
中国人&中国法人に土地を渡さぬ様に！
安全な食の提供、体に良い農産物が欲しい
無回答

問 13. あなたは、市内の農地・農業に対し、どのような役割を期待しますか。(n=485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	新鮮な農産物の提供	洪水の防止	国土の保全	景観保全	生物多様性	伝統文化の保全	大気の調整	教育	特にない	その他	無回答
全体	485	1651	416	155	163	170	178	137	194	201	24	11	2
		340%	86%	32%	34%	35%	37%	28%	40%	41%	5%	2%	0%
～20代	31	90	25	4	3	8	11	7	12	17	3	0	0
		290%	81%	13%	10%	26%	35%	23%	39%	55%	10%	0%	0%
30代	50	167	40	12	15	13	18	15	17	34	2	1	0
		334%	80%	24%	30%	26%	36%	30%	34%	68%	4%	2%	0%
40代	82	268	68	20	19	28	30	26	23	47	4	3	0
		327%	83%	24%	23%	34%	37%	32%	28%	57%	5%	4%	0%
50代	101	362	89	39	35	37	47	28	40	42	4	1	0
		358%	88%	39%	35%	37%	47%	28%	40%	42%	4%	1%	0%
60代	85	285	71	29	35	35	30	22	36	19	3	4	1
		335%	84%	34%	41%	41%	35%	26%	42%	22%	4%	5%	1%
70代	98	353	89	37	41	36	32	31	50	30	5	2	0
		360%	91%	38%	42%	37%	33%	32%	51%	31%	5%	2%	0%
80歳以上	36	124	32	14	15	13	10	8	16	12	3	0	1
		344%	89%	39%	42%	36%	28%	22%	44%	33%	8%	0%	3%
無回答	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	新鮮な農産物の提供	洪水の防止	国土の保全	景観保全	生物多様性	伝統文化の保全	大気の調整	教育	特にない	その他	無回答
全体	485	1651	416	155	163	170	178	137	194	201	24	11	2
		340%	86%	32%	34%	35%	37%	28%	40%	41%	5%	2%	0%
農村ゾーン	21	61	15	4	3	8	7	5	6	8	3	1	1
		290%	71%	19%	14%	38%	33%	24%	29%	38%	14%	5%	5%
混在ゾーン	133	457	111	42	51	47	50	38	50	60	5	3	0
		344%	83%	32%	38%	35%	38%	29%	38%	45%	4%	2%	0%
市街地ゾーン	328	1127	287	109	109	115	120	94	137	132	16	7	1
		344%	88%	33%	33%	35%	37%	29%	42%	40%	5%	2%	0%
無回答	3	6	3	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
		200%	100%	0%	0%	0%	33%	0%	33%	33%	0%	0%	0%

詳細地区

	n	合計	新鮮な農産物の提供	洪水の防止	国土の保全	景観保全	生物多様性	伝統文化の保全	大気の調整	教育	特にない	その他	無回答
全体	485	1651	416	155	163	170	178	137	194	201	24	11	2
		340%	86%	32%	34%	35%	37%	28%	40%	41%	5%	2%	0%
神久保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
大和田	21	66	15	5	4	8	12	5	7	5	4	1	0
		314%	71%	24%	19%	38%	57%	24%	33%	24%	19%	5%	0%
大和田新田	74	258	68	25	25	26	28	23	31	29	2	1	0
		349%	92%	34%	34%	35%	38%	31%	42%	39%	3%	1%	0%
尾崎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
勝田	7	22	5	3	1	3	3	2	1	4	0	0	0
		314%	71%	43%	14%	43%	43%	29%	14%	57%	0%	0%	0%
勝田台	37	128	34	12	14	12	15	8	17	12	3	1	0
		346%	92%	32%	38%	32%	41%	22%	46%	32%	8%	3%	0%
勝田台北	7	18	7	1	2	0	1	2	3	2	0	0	0
		257%	100%	14%	29%	0%	14%	29%	43%	29%	0%	0%	0%
勝田台南	6	23	5	2	2	2	2	3	2	4	1	0	0
		383%	83%	33%	33%	33%	33%	50%	33%	67%	17%	0%	0%
神野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
上高野	24	79	17	9	9	7	10	6	7	11	2	1	0
		329%	71%	38%	38%	29%	42%	25%	29%	46%	8%	4%	0%
萱田	11	42	10	3	6	5	4	4	6	3	1	0	0
		382%	91%	27%	55%	45%	36%	36%	55%	27%	9%	0%	0%
萱田町	12	34	9	3	4	3	2	3	5	4	1	0	0
		283%	75%	25%	33%	25%	17%	25%	42%	33%	8%	0%	0%
桑納	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
小池	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
佐山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田台	3	12	2	1	0	1	2	1	2	2	1	0	0
		400%	67%	33%	0%	33%	67%	33%	67%	67%	33%	0%	0%
下市場	4	5	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		125%	100%	0%	0%	0%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
下高野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
桑橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
高津	31	121	28	14	15	10	11	8	19	15	0	1	0
		390%	90%	45%	48%	32%	35%	26%	61%	48%	0%	3%	0%
高津東	7	24	6	1	1	2	3	4	3	4	0	0	0
		343%	86%	14%	14%	29%	43%	57%	43%	57%	0%	0%	0%
大学町	3	6	3	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
		200%	100%	0%	0%	0%	33%	33%	33%	0%	0%	0%	0%
平戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
保品	2	6	2	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0
		300%	100%	0%	0%	100%	50%	0%	0%	50%	0%	0%	0%
堀の内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
真木野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
緑が丘	23	86	21	7	12	9	8	7	9	12	0	1	0
		374%	91%	30%	52%	39%	35%	30%	39%	52%	0%	0%	4%
緑が丘西	17	59	14	4	6	7	5	6	5	12	0	0	0
		347%	82%	24%	35%	41%	29%	35%	29%	71%	0%	0%	0%
麦丸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
村上	45	151	37	15	20	15	14	13	20	14	1	2	0
		336%	82%	33%	44%	33%	31%	29%	44%	31%	2%	4%	0%
村上南	14	32	10	4	1	4	4	1	2	4	2	0	0
		229%	71%	29%	7%	29%	29%	7%	14%	29%	14%	0%	0%
八千代台北	31	107	28	11	9	9	11	10	17	11	1	0	0
		345%	90%	35%	29%	29%	35%	32%	55%	35%	3%	0%	0%
八千代台西	11	41	9	3	4	4	4	4	5	5	1	2	0
		373%	82%	27%	36%	36%	36%	36%	45%	45%	9%	18%	0%
八千代台東	29	107	26	10	13	16	12	8	10	10	1	1	0
		369%	90%	34%	45%	55%	41%	28%	34%	34%	3%	3%	0%
八千代台南	14	55	12	8	2	7	3	6	6	11	0	0	0
		393%	86%	57%	14%	50%	21%	43%	43%	79%	0%	0%	0%
ゆりのき台	35	122	32	11	9	13	16	9	11	20	1	0	0
		349%	91%	31%	26%	37%	46%	26%	31%	57%	3%	0%	0%
吉橋	1	4	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
		400%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%	0%
米本	11	35	8	3	3	5	3	3	3	5	0	1	1
		318%	73%	27%	27%	45%	27%	27%	27%	45%	0%	9%	9%
無回答	3	6	3	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
		200%	100%	0%	0%	0%	33%	0%	33%	33%	0%	0%	0%

問 1 4. 農地保全の重要性について

「重要と思う」が 73.8%で最も多く、次いで「わからない」が 21.0%と多くみられた。

年齢別クロス集計では、「30代」で「重要と思う」の割合が低く、「わからない」の割合が高い。

居住地別クロス集計では、「農村ゾーン」で「重要と思う」の割合が低く、「重要ではない」の割合が高い。詳細地区では、「村上南」と「八千代台北」で「重要と思う」の割合が低く「わからない」の割合が高い。

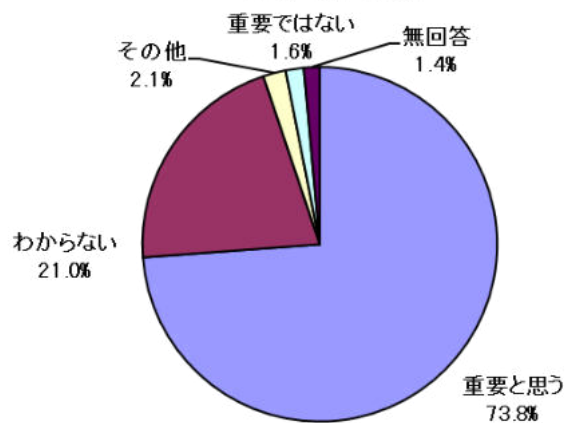
多面的機能への期待別クロス集計では、「特にない」と回答した層は「重要と思う」の割合が低く、「わからない」の割合が高い。

	回答数	比率
重要と思う	358	73.8%
わからない	102	21.0%
その他	10	2.1%
重要ではない	8	1.6%
無回答	7	1.4%
合計	485	100.0%

その他

耕作放棄地の増加をなんとかして欲しい
農地の減少は都市化とは関係ないと思う。農地保有者が後継ぎがいらないため土地を売却したためじゃないでしょうか？
畑を迷惑がられる
重要とは思いますがやりたいと思う若い人を探すことが大切
自然環境は大切だと思います
安全であれば重要
重要ではあるが、八千代市でなくても良いと考えている
最重要
農地はあっていいが、その保管が難しく、荒れていくのでは困る。
都市化も大切なので、うまく住みわけをしてほしい

問14. あなたは、市内の農地を保全することについて、どのようなお考えですか。(n=485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	重要と思う	重要ではない	わからない	その他	無回答
全体	485	485	358	8	102	10	7
		100%	74%	2%	21%	2%	1%
～ 20代	31	31	19	1	9	2	0
		100%	61%	3%	29%	6%	0%
30代	50	50	29	0	19	2	0
		100%	58%	0%	38%	4%	0%
40代	82	82	57	1	22	2	0
		100%	70%	1%	27%	2%	0%
50代	101	101	78	0	20	2	1
		100%	77%	0%	20%	2%	1%
60代	85	85	65	1	17	1	1
		100%	76%	1%	20%	1%	1%
70代	98	98	81	3	12	1	1
		100%	83%	3%	12%	1%	1%
80歳以上	36	36	28	2	2	0	4
		100%	78%	6%	6%	0%	11%
無回答	2	2	1	0	1	0	0
		100%	50%	0%	50%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	重要と思う	重要ではない	わからない	その他	無回答
全体	485	485	358	8	102	10	7
		100%	74%	2%	21%	2%	1%
農村ゾーン	21	21	13	2	4	0	2
		100%	62%	10%	19%	0%	10%
混在ゾーン	133	133	99	2	30	1	1
		100%	74%	2%	23%	1%	1%
市街地ゾーン	328	328	244	4	67	9	4
		100%	74%	1%	20%	3%	1%
無回答	3	3	2	0	1	0	0
		100%	67%	0%	33%	0%	0%

詳細地区

	n	合計	重要 と思う	重要 ではない	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体	485	485	358	8	102	10	7
		100%	74%	2%	21%	2%	1%
神久保	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
大和田	21	21	13	1	5	0	2
		100%	62%	5%	24%	0%	10%
大和田新田	74	74	60	1	10	3	0
		100%	81%	1%	14%	4%	0%
尾崎	1	1	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
勝田	7	7	6	0	1	0	0
		100%	86%	0%	14%	0%	0%
勝田台	37	37	29	0	6	2	0
		100%	78%	0%	16%	5%	0%
勝田台北	7	7	4	0	3	0	0
		100%	57%	0%	43%	0%	0%
勝田台南	6	6	4	0	2	0	0
		100%	67%	0%	33%	0%	0%
神野	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
上高野	24	24	18	0	6	0	0
		100%	75%	0%	25%	0%	0%
萱田	11	11	9	0	2	0	0
		100%	82%	0%	18%	0%	0%
萱田町	12	12	8	0	4	0	0
		100%	67%	0%	33%	0%	0%
桑納	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
小池	1	1	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	100%	0%	0%
佐山	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田台	3	3	3	0	0	0	0
		100%	100%	0%	0%	0%	0%
下市場	4	4	2	0	2	0	0
		100%	50%	0%	50%	0%	0%
下高野	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
桑橋	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
高津	31	31	27	0	4	0	0
		100%	87%	0%	13%	0%	0%
高津東	7	7	5	0	1	1	0
		100%	71%	0%	14%	14%	0%
大学町	3	3	2	1	0	0	0
		100%	67%	33%	0%	0%	0%
平戸	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
保品	2	2	1	0	1	0	0
		100%	50%	0%	50%	0%	0%
堀の内	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
真木野	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
緑が丘	23	23	17	1	5	0	0
		100%	74%	4%	22%	0%	0%
緑が丘西	17	17	11	0	6	0	0
		100%	65%	0%	35%	0%	0%
麦丸	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%
村上	45	45	33	1	9	1	1
		100%	73%	2%	20%	2%	2%
村上南	14	14	8	0	4	1	1
		100%	57%	0%	29%	7%	7%
八千代台北	31	31	21	0	9	0	1
		100%	68%	0%	29%	0%	3%
八千代台西	11	11	9	0	2	0	0
		100%	82%	0%	18%	0%	0%
八千代台東	29	29	21	1	7	0	0
		100%	72%	3%	24%	0%	0%
八千代台南	14	14	10	0	2	2	0
		100%	71%	0%	14%	14%	0%
ゆりのき台	35	35	27	1	7	0	0
		100%	77%	3%	20%	0%	0%
吉橋	1	1	1	0	0	0	0
		100%	100%	0%	0%	0%	0%
米本	11	11	7	1	1	0	2
		100%	64%	9%	9%	0%	18%
無回答	3	3	2	0	1	0	0
		100%	67%	0%	33%	0%	0%

<多面的機能への期待別・クロス集計>

	n	合計	重要 と思う	重要 ではない	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体	1651	1651	1350	18	225	35	23
		100%	82%	1%	14%	2%	1%
新鮮な農産物の提供	416	416	328	5	71	8	4
		100%	79%	1%	17%	2%	1%
洪水の防止	155	155	127	1	19	5	3
		100%	82%	1%	12%	3%	2%
国土の保全	163	163	142	2	14	4	1
		100%	87%	1%	9%	2%	1%
景観保全	170	170	148	2	14	2	4
		100%	87%	1%	8%	1%	2%
生物多様性	178	178	158	0	16	3	1
		100%	89%	0%	9%	2%	1%
伝統文化の保全	137	137	121	2	10	3	1
		100%	88%	1%	7%	2%	1%
大気の調整	194	194	162	2	24	3	3
		100%	84%	1%	12%	2%	2%
教育	201	201	153	3	36	6	3
		100%	76%	1%	18%	3%	1%
特にない	24	24	6	0	17	0	1
		100%	25%	0%	71%	0%	4%
その他	11	11	5	1	3	1	1
		100%	45%	9%	27%	9%	9%
無回答	2	2	0	0	1	0	1
		100%	0%	0%	50%	0%	50%

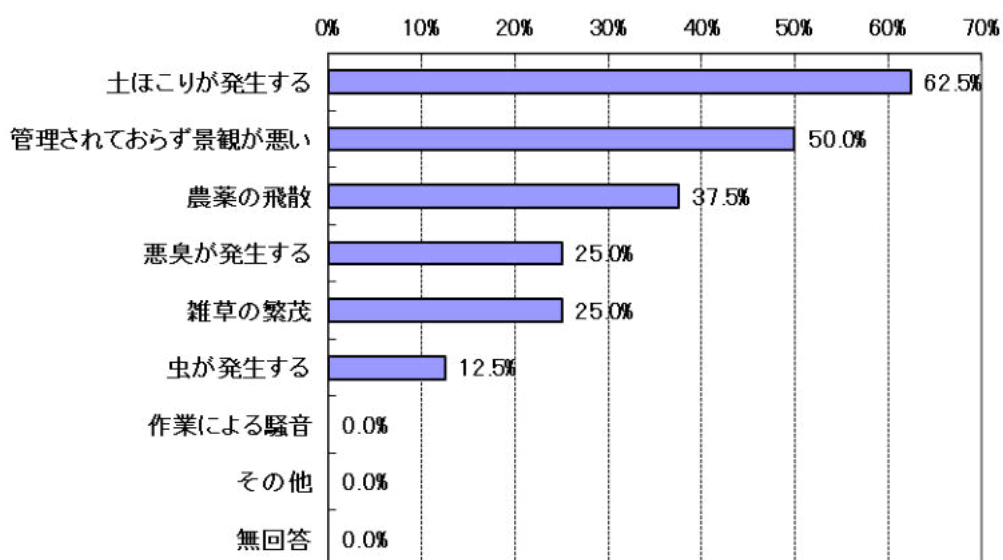
問14-1. 問14「重要ではない」の理由について（複数回答）

「土ほこりが発生する」が 62.5%と最も多く、次いで「管理されておらず景観が悪い」が 50.0%、「農薬の飛散」が 37.5%と多くみられた。

居住地別クロス集計では、「市街地ゾーン」で「土ほこりが発生する」の割合が高い。詳細地区では、「大和田」で最も多くの回答件数が認められた。

	回答数	比率
土ほこりが発生する	5	62.5%
管理されておらず景観が悪い	4	50.0%
農薬の飛散	3	37.5%
悪臭が発生する	2	25.0%
雑草の繁茂	2	25.0%
虫が発生する	1	12.5%
作業による騒音	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	17	-
n	8	

問14-1.その理由について (n=8)



<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	作業による騒音	農薬の飛散	虫が発生する	土ほこりが発生する	管理されておらず景観が悪い	悪臭が発生する	雑草の繁茂	その他	無回答
全体	8	17	0	3	1	5	4	2	2	0	0
		213%	0%	38%	13%	63%	50%	25%	25%	0%	0%
農村ゾーン	2	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0
		150%	0%	50%	0%	50%	50%	0%	0%	0%	0%
混在ゾーン	2	4	0	0	1	1	1	1	0	0	0
		200%	0%	0%	50%	50%	50%	50%	0%	0%	0%
市街地ゾーン	4	10	0	2	0	3	2	1	2	0	0
		250%	0%	50%	0%	75%	50%	25%	50%	0%	0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

詳細地区

	n	合計	作業による騒音	農薬の飛散	虫が発生する	土ほこりが発生する	管理されておらず景観が悪い	悪臭が発生する	雑草の繁茂	その他	無回答
全体	8	17	0%	3%	18%	5%	4%	2%	2%	0%	0%
神久保	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
大和田	1	4	0%	25%	0%	25%	0%	25%	25%	0%	0%
大和田新田	1	2	0%	0%	0%	50%	0%	0%	45%	0%	0%
尾崎	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
勝田	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
勝田台	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
勝田台北	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
勝田台南	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
神野	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
上高野	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
萱田	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
萱田町	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
桑納	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
小池	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
佐山	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田台	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
下市場	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
下高野	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
桑橋	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
高津	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
高津東	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
大学町	1	1	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
平戸	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
保品	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
堀の内	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
真木野	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
緑が丘	1	2	0%	50%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%
緑が丘西	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
麦丸	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
村上	1	1	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%
村上南	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
八千代台北	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
八千代台西	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
八千代台東	1	2	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%
八千代台南	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ゆりのき台	1	3	0%	0%	33%	33%	0%	33%	0%	0%	0%
吉橋	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
米本	1	2	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
無回答	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

問 15. 今後八千代市の農業と関わる意向について（複数回答）

「直売所等で市内産農産物を購入する」が 73.4%と最も多く、次いで「梨・いちごなどの味覚狩りを行う」が 35.5%、「特にない」が 14.6%と多くみられた。「食育講座や農業イベントへの参加」や「農家が忙しい時期にアルバイトで働く」といった項目に一定の意向が認められた。また、「将来、農地を借りて農業者になりたい」という回答が 10 件認められた。

年齢別クロス集計では、「40 代」以下の層で「梨・いちごなどの味覚狩りを行う」の割合が高いなかで、「30 代」では「食育講座や農業イベントへの参加」で、「40 代」では「学校で行われる子供の農業体験に協力する」で高い割合がみられた。

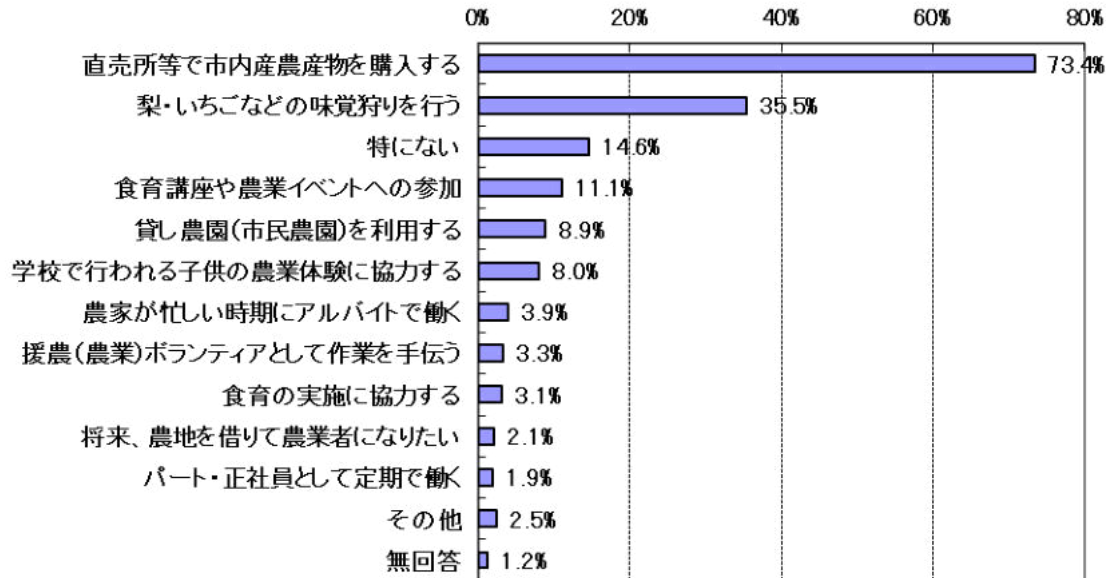
居住地別クロス集計では、全体的に「農村ゾーン」より「混在ゾーン」、「市街地ゾーン」で意向の割合が高いなかで、特に「直売所等で市内産農産物を購入する」について割合が高い。詳細地区では、「大和田新田」でアルバイトやボランティア、パート・正社員として働くといった農業への労働意向が認められる回答が多数認められた。

	回答数	比率
直売所等で市内産農産物を購入する	356	73.4%
梨・いちごなどの味覚狩りを行う	172	35.5%
特にない	71	14.6%
食育講座や農業イベントへの参加	54	11.1%
貸し農園(市民農園)を利用する	43	8.9%
学校で行われる子供の農業体験に協力する	39	8.0%
農家が忙しい時期にアルバイトで働く	19	3.9%
援農(農業)ボランティアとして作業を手伝う	16	3.3%
食育の実施に協力する	15	3.1%
将来、農地を借りて農業者になりたい	10	2.1%
パート・正社員として定期で働く	9	1.9%
その他	12	2.5%
無回答	6	1.2%
合計	822	-
n	485	

その他

高齢のためできない
農業、農作業とメンタルヘルスの関連について研究
家庭菜園を続ける
勤務先での農業
庭の畑で野菜を作る
なしなどのイベントに参加する。
他市の人に八千代産をすすめる。
年
畑を借りて野菜を作っていたこともあるが、急に売地になり。
スーパーで買う。
スーパーであれば買っていきたい
無回答

問15. 今後、どのようなことで八千代市の農業とかかわるお考えがありますか。(n=485)



<年齢別・クロス集計>

	n	合計	直売所等で市内産農産物を購入する	援農(農業)ボランティアとして作業を手伝う	農家が忙しい時期にアルバイトで働く	パート・正社員として定期で働く	貸し農園(市民農園)を利用する	梨・いちごなどの味覚狩りを行う	参加 食育講座や農業イベントへの	将来、農地を借りて農業者になりたい	食育の実施に協力する	学校で行われる子供の農業体験に協力する	特にない	その他	無回答
全体	485	822	356	16	19	9	43	172	54	10	15	39	71	12	6
~ 20代	31	53	19	1	2	1	1	15	1	2	2	3	6	0	0
30代	50	95	36	2	2	0	3	28	10	0	2	6	5	1	0
40代	82	169	63	1	2	2	9	38	14	2	3	21	9	3	2
50代	101	172	77	5	7	3	11	32	11	2	3	3	15	3	0
60代	85	127	64	2	3	2	6	24	7	0	2	2	14	0	1
70代	98	141	71	3	3	1	6	25	4	3	1	2	17	4	1
80歳以上	36	63	24	2	0	0	7	10	7	1	2	2	5	1	2
無回答	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

<居住地別・クロス集計※>

	n	合計	直売所等で市内産農産物を購入する	援農（農業）ボランティアとして作業を手伝う	農家が忙しい時期にアルバイトで働く	パート・正社員として定期で働く	貸し農園（市民農園）を利用する	梨・いちごなどの味覚狩りを行う	食育講座や農業イベントへの参加	将来、農地を借りて農業者になりたい	食育の実施に協力する	学校で行われる子供の農業体験に協力する	特になし	その他	無回答
全体	485	822	356	16	19	9	43	172	54	10	15	39	71	12	6
		169%	73%	3%	4%	2%	9%	35%	11%	2%	3%	8%	15%	2%	1%
農村ゾーン	21	38	13	1	1	0	2	6	4	2	1	1	6	0	1
		181%	62%	5%	5%	0%	10%	29%	19%	10%	5%	5%	29%	0%	5%
混在ゾーン	133	238	100	7	9	2	13	55	18	1	4	12	11	3	3
		179%	75%	5%	7%	2%	10%	41%	14%	1%	3%	9%	8%	2%	2%
市街地ゾーン	328	542	240	8	9	7	28	110	32	7	10	26	54	9	2
		165%	73%	2%	3%	2%	9%	34%	10%	2%	3%	8%	16%	3%	1%
無回答	3	4	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		133%	100%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

詳細地区

	n	合計	直売所等で市内産農産物を購入する	援農（農業）ボランティアとして作業を手伝う	農家が忙しい時期にアルバイトで働く	働くパート・正社員として定期で	貸し農園（市民農園）を利用する	梨・いちごなどの味覚狩りを行う	食育講座や農業イベントへの参加	将来、農地を借りて農業者になりたい	食育の実施に協力する	学校で行われる子供の農業体験に協力する	特にな	その他	無回答
全体	485	822	356	16	19	9	43	172	54	10	15	39	71	12	6
		169%	73%	3%	4%	2%	9%	35%	11%	2%	3%	8%	15%	2%	1%
神久保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大和田	21	33	14	0	0	0	1	10	0	0	0	1	6	0	1
		157%	67%	0%	0%	0%	5%	48%	0%	0%	0%	5%	29%	0%	5%
大和田新田	74	128	52	2	5	2	12	22	10	3	4	7	8	1	0
		173%	70%	3%	7%	3%	16%	30%	14%	4%	5%	9%	11%	1%	0%
尾崎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
勝田	7	12	3	0	0	0	1	3	2	0	0	1	2	0	0
		171%	43%	0%	0%	0%	14%	43%	29%	0%	0%	14%	29%	0%	0%
勝田台	37	59	26	1	1	3	4	8	3	2	0	3	7	1	0
		159%	70%	3%	3%	8%	11%	22%	8%	5%	0%	8%	19%	3%	0%
勝田台北	7	11	7	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0
		157%	100%	0%	0%	0%	14%	29%	0%	0%	14%	0%	0%	0%	0%
勝田台南	6	13	4	0	0	0	1	3	2	0	0	1	2	0	0
		217%	67%	0%	0%	0%	17%	50%	33%	0%	0%	17%	33%	0%	0%
神野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
上高野	24	45	20	1	2	0	1	8	3	0	2	4	4	0	0
		188%	83%	4%	8%	0%	4%	33%	13%	0%	8%	17%	17%	0%	0%
萱田	11	15	7	0	0	0	2	5	0	0	0	0	1	0	0
		136%	64%	0%	0%	0%	18%	45%	0%	0%	0%	0%	9%	0%	0%
萱田町	12	19	9	1	1	0	2	3	0	0	0	1	2	0	0
		158%	75%	8%	8%	0%	17%	25%	0%	0%	0%	8%	17%	0%	0%
桑納	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
小池	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
佐山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
島田台	3	8	2	0	0	0	0	3	2	0	0	0	1	0	0
		267%	67%	0%	0%	0%	0%	100%	67%	0%	0%	0%	33%	0%	0%
下市場	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
		100%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%
下高野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
桑橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
高津	31	57	29	0	0	0	1	15	3	0	1	3	2	3	0
		184%	94%	0%	0%	0%	3%	48%	10%	0%	3%	10%	6%	10%	0%
高津東	7	16	7	0	0	0	1	4	1	0	1	2	0	0	0
		229%	100%	0%	0%	0%	14%	57%	14%	0%	14%	29%	0%	0%	0%
大学町	3	4	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		133%	100%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
平戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
保品	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%
堀の内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
真木野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
緑が丘	23	29	18	1	0	0	0	4	0	0	0	2	4	0	0
		126%	78%	4%	0%	0%	0%	17%	0%	0%	0%	9%	17%	0%	0%
緑が丘西	17	37	12	1	1	1	2	10	4	0	1	3	2	0	0
		218%	71%	6%	6%	6%	12%	59%	24%	0%	6%	18%	12%	0%	0%
麦丸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
村上	45	75	33	2	3	0	6	18	6	0	0	2	2	1	2
		167%	73%	4%	7%	0%	13%	40%	13%	0%	0%	4%	4%	2%	4%
村上南	14	20	9	0	0	0	1	4	1	0	0	0	4	0	1
		143%	64%	0%	0%	0%	7%	29%	7%	0%	0%	0%	29%	0%	7%
八千代台北	31	49	20	1	1	0	0	12	4	0	1	2	7	1	0
		158%	65%	3%	3%	0%	0%	39%	13%	0%	3%	6%	23%	3%	0%
八千代台西	11	21	7	0	0	0	1	4	3	0	1	2	2	1	0
		191%	64%	0%	0%	0%	9%	36%	27%	0%	9%	18%	18%	9%	0%
八千代台東	29	48	21	2	1	1	1	11	3	1	1	0	5	1	0
		166%	72%	7%	3%	3%	3%	38%	10%	3%	3%	0%	17%	3%	0%
八千代台南	14	23	12	0	0	1	1	5	0	1	0	1	1	1	0
		164%	86%	0%	0%	7%	7%	36%	0%	7%	0%	7%	7%	7%	0%
ゆりのき台	35	63	27	2	2	1	2	14	5	1	1	3	2	2	1
		180%	77%	6%	6%	3%	6%	40%	14%	3%	3%	9%	6%	6%	3%
吉橋	1	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		300%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
米本	11	22	7	1	1	0	2	2	2	2	1	1	2	0	1
		200%	64%	9%	9%	0%	18%	18%	18%	18%	9%	9%	18%	0%	9%
無回答	3	4	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		133%	100%	0%	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

<性別・年齢別クロス集計>

	n	合計	直売所等 入する	援農(農業) して作業を 手伝う	農家が忙しい 時期にアルバイ トで働く	働く パート・正社員として 定期で	貸し農園(市民農園) を利用 する	梨・いちごなどの 味覚狩りを行 う	参加 食育講座や農業イ ベントへの	将来、農地を借りて 農業者にな りたい	食育の実施に協 力する	学校で行われる 子供の農業体 験に協力する	特 に ない	その他	無 回 答
男性全体	202	332	138	7	6	6	23	62	17	7	4	18	40	2	2
～20代	14	21	5	0	1	0	0	7	1	1	1	1	4	0	0
30代	16	27	11	0	0	0	0	8	2	0	0	2	4	0	0
40代	37	85	31	0	1	1	7	18	8	1	2	12	3	1	0
50代	37	64	26	3	2	2	5	13	3	2	0	0	7	1	0
60代	39	51	27	1	1	2	3	6	1	0	0	1	9	0	0
70代	41	59	27	2	1	1	3	7	1	3	1	2	11	0	0
80歳以上	18	25	11	1	0	0	5	3	1	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性全体	276	480	213	9	13	3	19	109	36	3	11	20	30	10	4
～20代	17	32	14	1	1	1	1	8	0	1	1	2	2	0	0
30代	34	68	25	2	2	0	3	20	8	0	2	4	1	1	0
40代	44	83	31	1	1	1	2	20	6	1	1	9	6	2	2
50代	64	108	51	2	5	1	6	19	8	0	3	3	8	2	0
60代	45	74	36	1	2	0	3	17	6	0	2	1	5	0	1
70代	56	81	44	1	2	0	2	18	3	0	0	0	6	4	1
80歳以上	16	34	12	1	0	0	2	7	5	1	2	1	2	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

➤ 担い手に関する市民の意向

農業者として農業をする、正社員・パート労働で定期的に働く、の項目では男性の方が多く、幅広い年齢層の市民に意向がある。一方、アルバイト労働と農業ボランティアの項目では女性の方が多く、こちらも幅広い年齢層で意向がある。市民農園については、男女とも多数の意向が確認され、幅広い年齢層で意向がある。

男性：●70代以上●60代●50代○40代以下

女性：●70代以上●60代●50代○40代以下

農業者になりたい	7人 3人	●●●●●○○ ●○○
正社員・パート労働	6人 3人	●●●●●○ ●○○
アルバイト労働	6人 13人	●●●●○○ ●●●●●○○○○○
農業ボランティア	7人 9人	●●●●●● ●●●●○○○○
市民農園	23人 19人	●●●●●●●●●●●●●●●●●○○○○○○○○○ ●●●●●●●●●●●●●●●●○○○○○○○

➤ 食育に関する市民の意向

食育の実施に協力する、学校で行われる子供の農業体験に協力する、食育講座や農業イベントへの参加では、男性より女性の回答者が多くみられた。また、どの選択肢においても男女ともに40代以下の回答者が比較的多かった。

男性：●70代以上●60代●50代○40代以下

女性：●70代以上●60代●50代○40代以下

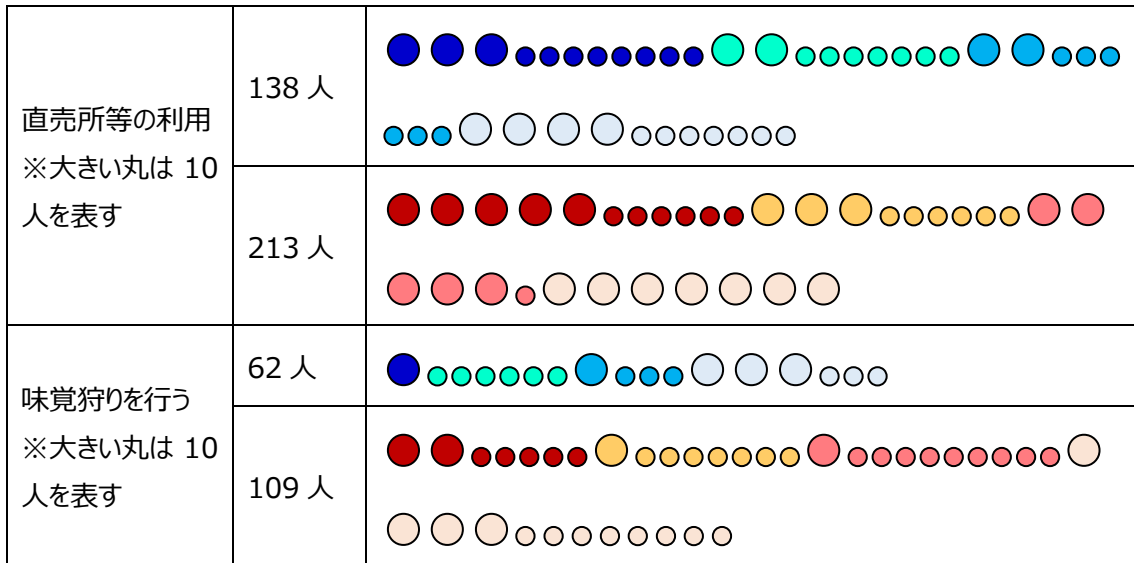
食育の実施に協力する	4人 11人	●○○○ ●●●●●○○○○○
学校で行われる子供の農業体験に協力する	18人 20人	●●●○○○○○○○○○○○○○○○○○ ●●●●●○○○○○○○○○○○○○○○○○
食育講座や農業イベントへの参加	18人 36人	●●●●●○○○○○○○○○○○○○○○ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○

➤ 消費者としての市民の意向

直売所等で市内農産物を購入する、梨・いちごなどの味覚狩りを行うでは、どちらの選択肢も男性より女性の回答者が多くみられた。また、どちらの選択肢においても、男女ともに幅広い年齢層に多く意向がある。

男性：●70代以上 ●60代 ●50代 ○40代以下

女性：●70代以上 ●60代 ●50代 ○40代以下



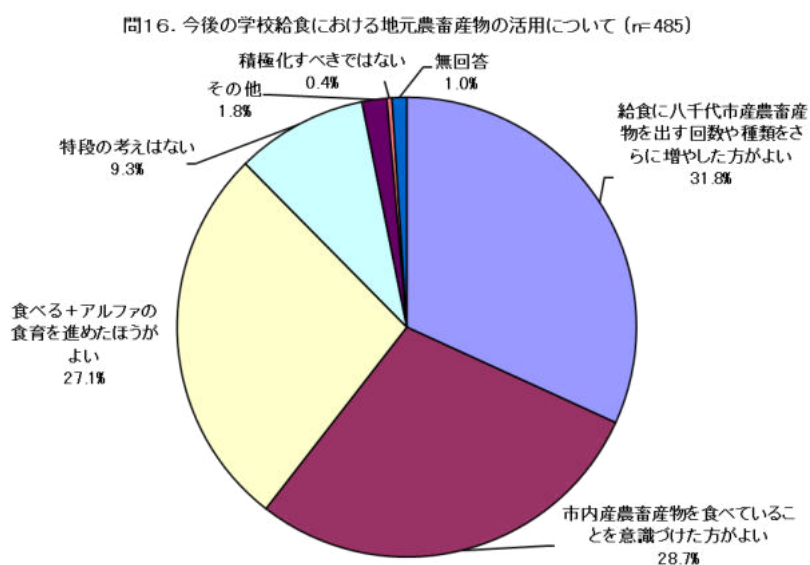
問16. 学校給食への地元農畜産物の活用について

「給食に八千代市産農畜産物を出す回数や種類をさらに増やした方がよい」が 31.8%と最も多く、次いで「市内産農畜産物を食べていることを意識づけた方がよい」が 28.7%、「食べる+アルファの食育を進めた方がよい」が 27.1%と多くみられた。

	回答数	比率
給食に八千代市産農畜産物を出す回数や種類をさらに増やした方がよい	154	31.8%
市内産農畜産物を食べていることを意識づけた方がよい	139	28.7%
食べる+アルファの食育を進めたほうがよい	131	27.1%
特段の考えはない	45	9.3%
その他	9	1.8%
積極化すべきではない	2	0.4%
無回答	5	1.0%
合計	485	100.0%

その他

子供がいないのですみません
アンテナショップを作り八千代産をPRする。
3番の項目とともに、子供達だけでなく親などにも八千代市阿武農畜産物を理解させた方がよい。現在は親世代が意識が低いと感じます。食育の授業は小学校全学年、中学校でも行った方がよい。
地元農畜産物に特別にこだわる必要はないと思います。新鮮で価格の安価なものを、必要に応じて提供できる産地から手配すればOKです。昔の銀行「護送船団」みたいです。各農家は価格競争力を持つべき)
学校だけではなく、幼稚園や保育員、福祉施設の給食に拡充したり、公共施設(市役所のレストラン)とか、市内レストランにも働きかけては？
現状でよい。
特になし …2件



問 17. 八千代市の農業の保全のための取組みについて（複数回答）

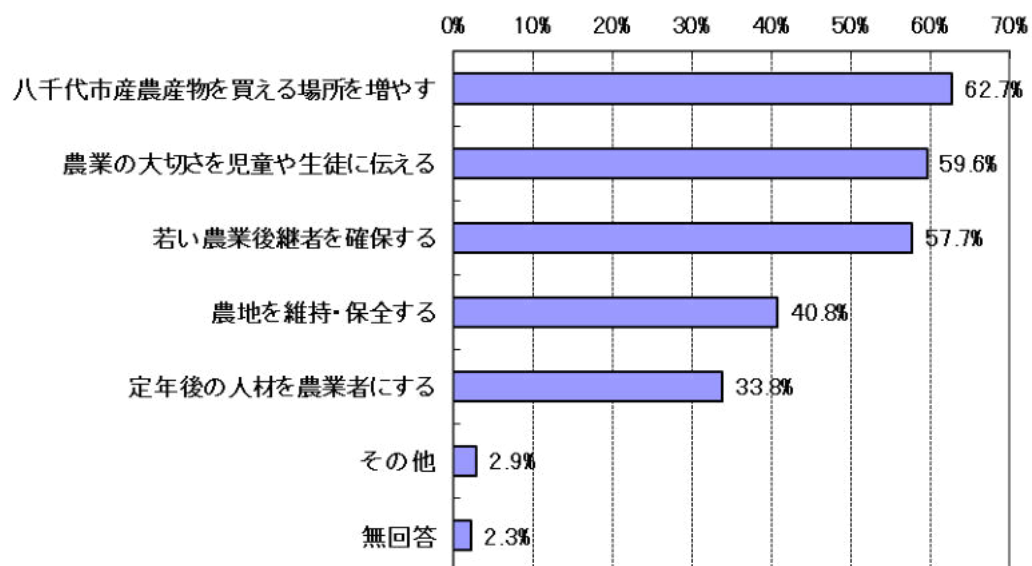
「八千代市産農産物を買える場所を増やす」が 62.7%、次いで「農業の大切さを児童や生徒に伝える」が 59.6%、「若い農業後継者を確保する」が 57.7%と多くみられた。

	回答数	比率
八千代市産農産物を買える場所を増やす	304	62.7%
農業の大切さを児童や生徒に伝える	289	59.6%
若い農業後継者を確保する	280	57.7%
農地を維持・保全する	198	40.8%
定年後の人材を農業者にする	164	33.8%
その他	14	2.9%
無回答	11	2.3%
合計	1260	-
n	485	

その他

学校給食での八千代市農業のアピール
荒地をなくす施策を行政が推進する
財政的な支援
農業法人など収益性の向上
市場価値のある作物の推進 地産地消などスケールの小さい事をやっても意味無し
八千代市産農産物を変える場所の开店時間を長くする。
わからない
イオンなどスーパーを使って八千代市PR
補助事業等で支援
飲食業への八千代産農産物の提供を増やす。主婦が従事しやすくする。繁忙期にアルバイト等あるのなら、求人がよく分かるようにあると良いと思います。
農業だけでも生計が成り立つようにできればよいと思います。
農業もだが若い人がもっとしっかり働けるようにする事の方が大事
地産食材のレストランを増やす ロサンゼルスやKURA6330のようなお店を
地産地消

問17. 今後、八千代市の農業の保全を図るために力を入れる必要があるものについて (n=485)



問 18. 八千代市の農業・農地の保全に対するご意見について（記述式）

自由意見について、意見の種類別に大まかにまとめたところ、下記のとおりとなった。意見一覧はまとめの後に記載。

- ◇ **農地・耕作放棄地に関するご意見では、耕作放棄地の解消、農地による魅力的な景観の維持、都市部との調和を求める声が多くみられた。**
 - ・ 耕作放棄地が多すぎる。冬に大風が吹くと空が茶色になり我が家は 20 年間に 10 cm 以上庭に土が飛んできて花壇が埋まった。立春過ぎになると恐怖になる。息するのも苦しい。赤土が空を舞う。耕作放棄地をなくす事が必要。
 - ・ 市内で田園風景を見ることが出来るのは貴重であるので是非守ってほしい。
 - ・ 昔ながらの田園風景が広がる八千代市であってほしいので、農地保全につながるよう、微力ながら地場野菜を今後も購入していこうと思う。
 - ・ 自然との調和は八千代市の大きな財産であり、今後も市の農業、農地の保全を積極的に進めるべきと考える。

- ◇ **担い手に関するご意見では、農業後継者への支援、定年退職者や高齢者、若年層へのアピール、農業アルバイト・パートの活用の推進、法人化の検討など多様な担い手の確保を求める声が多くみられた。**
 - ・ 農家の担い手となる後継者に補助金を出すことは大事だと思う。
 - ・ PR の方法を考え、若い力を確保すると共に、高齢者にも活躍してもらおう。定年された元気なお父様方に知恵を出してもらい、若者にアピールする。
 - ・ 農業へのアルバイトやボランティアの窓口はあるのか？ あるのなら、もっと知らせてほしい。ないのならぜひ作るべきと思う。
 - ・ 後継者不足改善の為、若者が参入しやすい様に法人化等のシステム作りを拡大。

- ◇ **農産物の生産に関するご意見では、環境に配慮した生産や安全な農産物の生産、自然災害への対応といった声が多くみられたほか、スマート農業の推進や農機の共有化等による効率的な生産、周辺の住環境に考慮した生産を求める声があった。**
 - ・ 出来るだけ有機農法、無農薬の農産物生産に努力して頂きたい。
 - ・ 近年の自然災害の多発により農家の方々のさらに甚大な被害も予想される。もっと公共の予算を農業の分野にあててもよいのではないか。
 - ・ 先進農業（AI・ドローン等々）への取組みを積極的に進めてみたらどうか。
 - ・ 牛舎のにおいは正直気になる。市として農地を守りたいのであれば、住宅地との共存を考えていかねばならないと思う。

- ◇ **ブランド化・農産物の販売に関するご意見では、八千代市産農産物の PR や販売先の増加、買いやすい価格での提供を求める声が多くみられた。**

 - ・ 八千代市でお米も多く作られているが、どこに出回っているかが知られていないような気がする。梨がとてもおいしいので、もっとアピールした方がいいと思う。
 - ・ 地場産（安心安全をモットーにした野菜）野菜を各スーパー等に置いてほしい。
 - ・ 最近スーパーにて地産（八千代市）の野菜コーナーが見られるようになりましたがまだまだ少ない量と PR がありません。安価で新鮮さを期待する。

- ◇ **農業交流に関するご意見では、収穫体験や市民農園等の農業体験の機会拡充、道の駅の機能強化や改善を求める声が多くみられた。**

 - ・ 収穫体験が（さつまいも以外）すぐいっぱいになり、なかなか体験できない。また、貸農地は料金が高く、手が出せません。子供たちと一緒に、野菜作りや収穫が出来る機会のハードルを下げただけだと嬉しい。
 - ・ 道の駅や農業研修センターの有効活用を望む。ただ施設を造るのではなく、いろいろ市外にも発信できるような、人が集まる活動があれば、農作物の利用も人も多く集まるのではないかな。
 - ・ 道の駅をよく利用するが駐車場が少なくいつも困っている。通常の駐車場枠を増やす他イベント時に臨時駐車場の確保をお願いしたい。
 - ・ 道の駅、野菜売場陳列を改善した方がいいと思う。下に置くやり方はよくない。八千代の道の駅は汚いし、しょぼい。他の農産物を扱っている所、店を参考にして買いやすくして、八千代の農産物をアピールしたらいいと思う。
 - ・ やちよ農業交流センターの活用 すごくきれいな施設なのにあまり活用されている感じがしない。農産物の販売も少ないし、調理場も使用されているのか？ 毎回行くと人もおらずさみしい感じ。もっとアピールして活用してみてもいいかな？

- ◇ **食育に関するご意見では、学校給食や収穫体験等を通じた農業理解の促進を求める声など、多くのご意見があった。**

 - ・ 小学校の給食試食会で、八千代市産の人参をたくさん使った給食をいただいた。とてもおいしく調理して、大切に野菜を使っているのだなと感じた。学校に限らず、野菜等の大切さ、農業の大切さを子供たちに、きちんと理解してもらえる環境を大切にしていきたい。
 - ・ 学校では畑や田を所有していることが多いが、育て方等よく分からぬ教員が多く、伝えたい収穫の喜びや、命の大切さ、農家の方のすごさにせまれている気がする。中学校区、1名程度農業指導員を配置していただくと助かる学校は多いと思う。

【意見一覧】

➤ 農地・耕作放棄地に関するご意見

生きていくためには食料が必要であり、それを作る場所や人がいなくなったら生きていけない。人口が減っていくのに農地に住宅開発を進めている状況に違和感を感じる。空き家を建て直すなどして住宅は確保していき、土地を開発するべきではない。農業に参加したい人は多いと思う。自分で作ったものを食べる喜びはとて大きいはずだ。耕作放棄地 141ha をそのままにするのはもったいない。これを市がどうにかして市民に活用できる体制にするべきだ。まず 10m×10m にニンジンを植えると何ヶ月でどれくらい収穫できるか、他の野菜の場合の収穫はなど具体的に教えてくれて苗にかかるお金はいくらで購入するのと自分で育てる比較なども提示してくれたらおもしろそうと思い、地域で共同してやってみようかと思う人がでてくるかもしれません。共同耕作者のマッチングもやってくれと助かると思います。市は農地を保全したいのか、開発して宅地にしたいのか、どうすれば経営していけるのか、どうすれば人が増えるのか考えを市民に広報すればいろんな意見がでると思います。これからの方向はこれ以上開発をすることなく農地保全をすることが私は良いと思います。副業が会社で認められれば農業アルバイトもやる人はいると思います。

耕作放棄地が多すぎます。冬に大風が吹くと空が茶色になり我が家は 20 年間に 10 cm 以上庭に土が飛んできて花壇が埋まりました。立春過ぎになると恐怖になります。息するのも苦しいです。赤土が空を舞います。耕作放棄地をなくす事が重要です。役所の方、農家の方、責任を持って対策を立ててください。食料危機が叫ばれているこの頃真剣に考えてください。農業をやりたいが土地が無いという人もいます。大きく宣伝して耕作放棄地をなくしてください。もっと行政と当事者が話し合っこのための未来のためしっかり話し合う事が重要です。

80 歳以上の戦中派、食糧難時代を経験した者としては農地を維持してほしい。これらの方針はアメリカでも肉食はしなくなるの事知ってますか、食料品としては米と大豆が基本と言われている。日本の土地はどこの国よりも気候の関係で肥えているとのこと。今米から牛乳と石油に近いものが研究されている時代。千葉県は農産物が良くとれる所ときいている。農地を農薬等で汚さない様研究してほしい。小さな農場の方が高齢者は働きやすいのでは。

今後の八千代市の将来は農業、農地の保全にかかっていると思います。大変だと思いますがご担当の皆様がんばってください。

年々、農業放棄地が増えているのが気になっています。地域では一括して作業をしている所もみられますので荒地にする前に大変でしょうがせつかく土地改良された土地を（田んぼ）市が率先して公社などをつくって維持されてはどうでしょうか

八千代市に一昨年転入しましたが春には鶯の声で目が覚めることがありとても気に入っています（しかしながら村上駅周辺に飲食店等があまりなくまた閉店時間が早いので（通勤時間がかかるのに店がもう閉まっている…）困る時がある。→鶯の鳴く里山のある都会を目指して欲しい（せつかく大手町まで一本で行けますし）→知人の中には古民家カフェをやりたいので農地のある良い所を探しているという人もいます・そのような稀な人材を積極的に受け入れてはどうでしょうか→新しい人材、新しいおしゃれな野菜作りそして vivid garden のようなネットでの販路など

<p>を市がバックアップしていくと良いと思う（全体的な都市計画必要では。特に狭くてぐちゃぐちゃな道路なんとかして欲しいです）</p>
<p>大規模経営したいが農地がとびとびしか無いとのことなので、寄せ集めて広げ、大型機械を使えるようにし効率を上げる。後継者のことを考えると会社経営にするのが望ましいと思う。市が行っている「まちづくり」で農業は北側の環境維持に役割を果たしていると思うが、水田の緑を見るとホッとす。地産地消が理想。市内で田園風景を見ることが出来るのは貴重であるので是非守ってほしい。</p>
<p>農地の保存には賛成です。その為にはどのような食材を作っているかだけでなく、どのような環境で育てているかも広く知らせることも重要だと思います。食材に関して親近感がわけば購買欲を向上する傾向があると思うためです。</p>
<p>八千代市は人口 20 万人都市でありながら、水稻、野菜、果樹、酪農とさまざまな農畜産物が産出できる恵まれた都市であると感じております。しかしながら、農業に対して行政機関などのアピールがほとんどなく、直売以外で八千代市産の文字を見ることがありません。千葉、船橋、白井、多古、八街、富里など他市町村で出来ていることが、なぜ八千代市にはできないのかいつも感じております。八千代市の農業、農地の保全のためには補助事業などの支援と共に、農地を守る場合の税制優遇などがあってもよろしいのではないのでしょうか？このままでは農業の衰退は進む一方です。八千代市も本腰を入れて、農畜産物のアピール、積極的支援を市長をはじめ、関係団体一丸となって進めてください。</p>
<p>八千代市はとても住みやすい所なので、これからもただの市街地化にするのではなく、緑地化した大地と共に、共存が持続できる未来になればいいと思います。</p>
<p>市街化調整区域と農業区域を明確にしたら？</p>
<p>八千代市産農産物を購入できる場所は少ないと思います。目につくとやはり身近で作られている野菜に安心感があり、選んでいます。後継者問題等で農業を続けられるのは厳しい状況かもしれませんが、田畑を常に目にしてきたので、今まで緑があったところが駐車場や家になっていると寂しく感じます、勝手な意見ですが、利便性のよい場所なのに、昔ながらの田園風景が広がる八千代市であってほしいので、農地保全につながるよう、微力ながら地場野菜を今後も購入していこうと思います。</p>
<p>休耕地を無料で貸す</p>
<p>八千代市内の農地は地形から見ても、大規模化は困難であり、小さい農地を効率よく収益を上げる方法が適していると思う。農地の活用として営農型太陽光発電により、収益を上げることが好ましいと思われる。ぜひ農政課として営農型太陽光発電の推進をお願いしたい。</p>
<p>耕作放棄地の管理・保全が重要。通学路の荒地に注意が必要。所有者の高齢化が原因か？所有者の出資による人材センターなどの活用。</p>

多くの農地が耕作されなくなり、宅地に変更されるのを見てきました。八千代市に引っ越ししてきた 20 年前と景色が大きく変わりました。自然との調和は八千代市の大きな財産であり、今後も市の農業、農地の保全を積極的に進めるべきと考えます。
市内では農地の宅地化が進んでいます。農地の保全が大切だと思います。耕作放棄地が増えないような取り組みも必要と考えます。
農業用地をもう少し貸出し、休耕地を減らす方がよいのでは。
耕作放棄地を無くすため、ホームページ等で利用者を無料でもよいから募集して、無くすようにしていただきたい。指導も含めて。
宅地が増え、農家が減るのが残念。
市南にもある程度の農地があっても良いと思う。八千代台南勝田台線計画 & 実行をお願いします。そして早期完成をお願いします。人生計画が立てられません。
休耕農地を市や県で借りて、農業従事者、後継者に貸し与えるシステムを作り上げたらと思う。
今はどこのお店にある農産物も新鮮なものがあり鮮度が良いことは当然です。価格に納得できれば産地にこだわらないのが現状です。市内産が他所のものに劣らないよう願います。農地が放置されそのまま…ということがないと良いと思います。農業をされている方がさまざまな理由で辞められるのは仕方ないと思いますがその後の管理がされず荒地にならないよう願います。

➤ 担い手に関するご意見

農業をしたい人に農業をさせる。
八千代市の魅力は住宅地と農地が比較的近いところにあることだと思います。農業従事者を増やすには幼児期から農業体験を積ませることも大切だと思います。
農業や農地を保つ為には後継者を育てて更に農業で生活できる環境を作ることです。
上記の問にある農業へのアルバイトやボランティアの窓口はあるのか？あるのなら、もっと知らせてほしい。ないのならぜひ作るべきだと思います。
若者が農業に関心が持てるように。農業をする若者が増えるようになれば良いなと思います。
ボランティアに対する募集を行う際に、ネットや市役所の掲示板などでなく、大学生以上がいる家庭に積極的に手紙や募集の紙があると意欲が出ると感じています。2 年前からネットは見ていましたが、場所や日時が自分の空いている日程と合わなかったのですが、1 つ 1 つのボランティアに手紙としてあると嬉しいと感じています。
農家が減少しているとは知っているが農家の担い手となる後継者に補助金を出すことは大事だと思う。ただ根本的な問題解決（農家減少に対して）にはならないと思う。市が企業を誘致して農家に頼らない産業（利益があるビジネス）への仕組みを作っていく必要があると考えます。
後継者不足解消の為に他市で行っているように資金を出してあげて訓練も援助してサポート体制を充実させたら休耕地を農地にする為に募集したら八千代市に移住してこられる人もいないでしょうか

<p>ブランド野菜を育てて青空レストランなどメディアで取り上げてもらおうと、若者の気を引くことが出来ると思います。基本的に、農業＝古くさいというイメージがあるので、農業がかっこイイものとして捉えてもらえるような工夫が、後継者確保に大切だと思います。</p>
<p>PRの方法を考え、若い力を確保すると共に、高齢者にも活躍してもらおう。定年された元気なお父様方に知恵を出してもらい、若者にアピールする。</p>
<p>農業就業人口の減少が気になりました。でも国産、地元産を食べたいと思っています。協力をしたいと思っても、何をすれば…と分からないので、広報などで担い手を守る事など、PRしてもよいかもしれません。障害者の就業とか、いろんなことが出来るかもしれません。</p>
<p>農業をやりたいと思っている若い人たちに農業指導をし農地を貸している町村の取組みをTVで見た事があります。八千代市は農地の多い場所でも車を利用すれば買い物や医療にも困らないし教育の環境や都市への交通も恵まれていると思います。市内だけではなく外から農業後継者を確保する環境を整えば良いと思います。</p>
<p>個人での農業経営については難しい状況が今後も続くと思います。高齢化、後継者不足も大きな問題となるのも全国的に同じ状況です。その中での打開策を見つけるのは大変ですが大規模農園として経営出来るように舵を切る時が近づいていると考えます。(株式会社化など)</p>
<p>後継者不足改善の為、若者が参入しやすい様に法人化等のシステム作りを拡大</p>
<p>定年後、若者(無職の人)が働くことができる様に…</p>
<p>いつもおいしく食べさせていただいている食材、ありがとうございます。“作る”にはとても長い年月のご苦労があると思います。いろいろな意味で豊食となり、食べ物へのありがたみが薄れていることが残念です。「農業」という仕事が大変なこと、またみんなにとって幸せを運べる幸せな仕事と思える、知ることで後継者が育成されることを願います。</p>

➤ 農産物の生産に関するご意見

<p>・出来るだけ有機農法、無農薬の農産物生産に努力して頂きたいです ・農地の宅地化が多いのかわかりませんが高層ビル建設、杉の伐採などさけて頂きたいと思います。</p>
<p>都心に近い八千代の利点を生かして特色ある付加価値の高い新鮮な野菜、くだもの開発を行い供給する必要があるのでは また将来的には農業の大規模化、機械化、企業化による集団経営を行い収益力のある体制を整えるならば農業がますます魅力的になり後継者問題や対外競争力など一挙に解決。</p>
<p>先進農業(AI・ドローン等々)への取組みを積極的に進めてみたらどうでしょう。都心へも近く、大学等の研究機関もあるので、企業との提携でモデル地区として発展できるのでは？</p>
<p>牛舎のにおいは正直気になります。近くには住めないと思います。ただ、元々農業が盛んであった土地に住宅地が進出していった経緯があると思うので、農家の方もそれで苦情を言われても困るだろうと思います。市として農地を守りたいのであれば、住宅地との共存を考えていかなければならないと思います。</p>

<p>環境にやさしい農業をしてもらいたい。特に子供にはなるべく農薬を使わない野菜を食べさせたい。またそのような農業を見せて、食と環境について考える子に育ててほしい。そのためにも生産性ばかり求める農業ではなく、後世に残せる農業を目指してほしい。</p>
<p>虫のための農薬を使用しないでほしい。</p>
<p>農業保全の重要性も理解できますが、我が家には小さい子供がいるので、食の安全、健康というのが一番の関心事です。野菜の放射能汚染が気になり、関東、東北のものをさけてしまう（100%ではないが）のが正直なところです。本当に安心して地元の野菜を購入できる世の中になってほしいと思っています。</p>
<p>森林が減少しそこで暮らしていた動物達が畑に下りて来て害を増やしている。宅地化で農家も周囲の圧力に負け農地を縮小せざる得ない状況も発生している。街が発展して暮らしは便利になっているが環境の悪化や自然災害の恐怖が増している。自然破壊の重大さを企業に意識してもらいたい。農家の収入が少ないため後継者が減少しているのではないかな？</p>
<p>地元の方が、後から入居してきた人に遠慮しては継続が大変なのは当然。（臭いや土ぼり等の苦情）。不動産屋さんと協力して、「八千代は農業や酪農に力を入れて市内の子供達にも教え伝えている」と宣伝してもらったり、貸農田情報を発信しては？</p>
<p>八千代市に住んでいるが、他市（県内）に実家の畑があり、そちらの方で営農を行っている。八千代市に限定せず、近隣の市町とのタイアップや農機の共有化を進め、営農者を支援したり、営農へのハードルを下げるなどの事業を行って、農業に対する興味を持ってもらうことが必要に思う。</p>
<p>後継者を確保するには収入という点は重要です。何か商品化するにも、商工会や信用金庫等バラバラのノウハウをマッチングしてもらったり、農機具は市が持っていて、安く貸し出すとか、ネットがけ、ビニール張りは近隣の高校、大学等を巻き込んで行ったり、小さな関りから若い人の声を聞くことも出来ると思います。</p>
<p>農作業はなくてはならないものだと思います。近年の自然災害の多発により農家の方々のさらに甚大な被害も予想されます。もっと公共の予算を農業の分野にあててもよいのではないのでしょうか</p>
<p>去年は台風で千葉県でもたいへんな被害を受けました。ハウスの修理に何年もかかるかもしれないと言っているのを聞きました。今まで八千代市は大きな被害をわりと受けずにこれでしたがこれからは保全も考えながら災害にも力をいれる時ではないのでしょうか。</p>
<p>現在、世界中で温暖化等により水害が田畑を使用できない状態が多く発生しています。今年は、千葉県等も台風による水害等により田畑が多くの被害を受けました。八千代市の農地を維持、保全に私も少しでも協力していきたいと思っています。</p>

➤ ブランド化・農産物の販売に関するご意見

<p>特産品等の普及を推進する。</p>
<p>八千代産のアピールが少ないので前面に「やっち」などのキャラクターを使ってどんどんアピールしたほうがよい！</p>

<p>・ブランド農産物を作る ・市民農園をふやす</p>
<p>荒地をなくす ・後継者を確保する ・土地の所有者と農業をしたい人に行政が関り借りやすくする ・販売所を増やして人の目に多くふれさせ販売の促進により収入の確保をはかる ・八千代市の野菜を買うことのアピール・八千代産とはっきりするためシールをはったりする ・荒地は景観が悪くさびれた地域に見えて八千代市のイメージを悪くする 農政のなさを感じる</p>
<p>どーんと祭りなどイベントでのアピール。またスーパーで地元祭りとイベントを行って、積極的に知ってもらうことなど。B 級グルメみたいに、八千代市は「これ！」というものがあるといいなあと思います。 (八街のピーナッツとか)。</p>
<p>八千代産をもっとアピールしてほしい。地場のものを食べたいです。農薬を減らしたり、地場の種の保守(外国産に頼らない)をがんばってほしいです!</p>
<p>地産地消について地元のスーパー、コンビニ等と協力して農地、店、市で共に発展を進めて行き 増収(市の)の増加に伴い市民がより良い生活環境(市民税の減額等)を進めて頂く等ご 検討願います。</p>
<p>最近では近くのスーパー3か所やヨーカドーでも八千代市の野菜があり価格的にも高くないものを見て買っています。新鮮で美味形にこだわらずどんどん出荷して欲しい。</p>
<p>八千代市内に職場があります。職場に行商にきてくれたら主婦はうれしいと思います。きたら買いたい。(グリーンハウスが家からとても遠いので)</p>
<p>八千代市産の農産物を買えるようにする上では、地産地消のメリットを消費者も市民も理解を深める必要があると思います。また、顔の見える農業とあわせて、農産物も規格外や形が不揃いなものに対する偏見を取り除くことで、もっと身近に農業を当事者として考えてもらえる工夫が必要かと思っています。農家の方々にも難しいのかもしれませんが、そのような規格外や不揃いな農産物も、市内で流通、あるいは消費者・市民に食べてもらえる場があれば、食品ロスの削減という点でも、よい食育の機会になると思います。同時に安心、安全な食を確保することの重要性も、認識が向上されるのではないかと思います。</p>
<p>子供に農業の大切さや、どういうふうに出て、育てる大変さなど知ることは大切だと思う。八千代市産を買いたいと思うが、いざ買い物に行くと価格の安い方を買ってしまっているかなと思う。これからはもう少し意識してみようと思う。</p>
<p>自分も家庭菜園経験アリ。曲がったキュウリ、ナス味が変わらない事知っている。安く売る事で高齢者やシングルマザー等比較的収入の余裕の無い方助かると思うし、生産者も売れば有りがたい。すみません字がキタナクテ</p>
<p>スーパーの入り口のドアの店頭に、氏名記名の野菜が気になり、特にトマト、きゅうりなどを買うことが多くなりました。価格が大切ですね。すごく甘く新鮮でおいしいです。</p>
<p>八千代市の「オリジナル」名産品を、農政課が主導のもとで数多くの農家と連携して、全国でも認められる特産品を生み出してほしい。</p>
<p>八千代市産の野菜はまったくイメージがわからず、今回のアンケートで初めて意識しました。</p>

八千代市でお米も多く作られているが、どこに出回っているかが知られていないような気がします。梨がとてもおいしいので、もっとアピールした方がいいと思う。(船橋よりおいしいです)
八千代の梨は自慢です。野菜も美味しいので積極的に購入し守っていきたい
新鮮でおいしい野菜、果物がいつでも手に入り値段も高くないものを多く出して欲しい(道の駅へ)
スーパーの売場や野菜の入った袋に〇〇さんの作ったものと顔写真のあるものを購入しています。安心、安全な食材を子供達や孫に食べさせたいです。
いつもありがたく感謝をして八千代産のお野菜をいただいております。我家は転勤族でして様々な土地に住んでおりますが必ず地元の野菜を食するよう心がけております。虫食い、見た目気にしません。安全で新鮮で真心こもったお野菜をこれからも食して行きたいです。小学生の3人の息子は健康に育ってます。食べ物大切ですね。◎学校給食はあまりおいしくないと言ってます… 残念…
大手スーパーで主力商品として選ばれること。品質、価格で優位になること。
八千代産のものは農協で買えると思いますが、スーパーなどと比べて値段が高いと感じます。
売場をお知らせする。チラシ等
もっと強み(ブランドのある農産物など)があると良いと思います。
ミニトマトを毎日食べているので、形などにはこだわらないが、新鮮な八千代産のミニトマトを買って食べたいが、あまり見かけないので近くで販売してほしい。なかなか直売所には行けませんが、出かけてみたいと思う。近くの農地で何を作っているのか、もう少し気にしてみたいと思う。親の介護などで、ゆっくり出かけられないが、八千代市の農業や農地など、今回のアンケートに関わって少し見て回りたい気分にもなりました。
地場産農産物の見える化の必要がある。市内消費に止まらず全国に世界に販売ができるよう努力すべきである。一つの方法として地域の名称と商品からなる標章と一定程度有名にして「地域団体商標」として登録しブランドとして IT などで世界に発信するなど。
・地場産(安心安全をモットーにした野菜)野菜を各スーパー等に置いてほしい ・農業従事者が希望を持って生産できる体制(行政)を強めていただきたい。
私は緑が丘在住で、まちの駅をよく利用します。お米、いちご、なし、お野菜など、地元の食材がたくさん売っています。やはりおいしいです。今後は地元の食材の加工品を開発し、魅力ある商品がたくさん売れたら、八千代市の知名度も上がると思います。なしやぶどう、いちごなどはよく親族やお世話になった方に贈りますが、加工品で贈答品に良いと思うものは残念ながらまだないので、農家と企業が協力し、よりよいものが出来たら良いと思います。
東京に出ると八千代市の知名度の低さを実感します。“八千代市といえば”という名産品があるとよいと思います。住んでいるのが八千代台西なのもあり、周辺に田んぼや農地などの自然が少ないです。小学校の時も就農体験はなかったので、教育に盛り込んでいただけるとよいと思います。

<p>色々なスーパーに八千代市のがあれば買います。地元のだと値段も安いので。後顔写真（作った人の）があると最も安心する。</p>
<p>八千代市産物を購入したいが、近所にもっと売っているところがあればよい。老人が多くなり、近所にお店が無くなってしまい、スーパーへ行くのにもバスが出ているが、ゆっくりと買物が出来ず、バスの時間に間に合うよう買って帰る次第です。</p>
<p>八千代産の PR が不足している。市場での八千代産を広く特色ある場所を多くする。現況ではダメです。</p>
<p>八千代市産農産物売り場を見てから買い物をしていますが形がわるくて見栄えが悪くても味に変わらないのなら袋づめて売るように給食でも見た目だけでなく食に対してもったいない考えで利用するようにマーケットでは入口に入ってすぐに設けているのでわかりやすく買いやすい。八千代の梨も農協協会のとなりへ買いに行く状態でスーパーでも取り扱ってもらいと助かります。</p>
<p>私は八千代台に住んでいますが地元の農産物を購入するのに歩いて買い求める場所が遠いのです。昔はグリーンハウス、道の駅等行っていました。今は他の直売所に週一回程度買い求めるようになりました。ユアエルムの中に地元の野菜がありますが種類が少ないです。グリーンハウスの様に種類沢山のものがあると嬉しいです。年寄りですが新しい、めずらしい野菜見て食べ方など参考にしたり作ったり味わっています。</p>
<p>八千代市産の農産物の普及について、市の積極性が見られない。</p>
<p>最近スーパーにて地産（八千代市）の野菜コーナーが見られるようになりましたがまだまだ少量と PR がありません。安価で新鮮さを期待します。広報での PR 及び売場での PR を期待します。</p>
<p>道の駅などで八千代市産の農業製品を大々的に展開するだけでなく市内に展開している大手スーパーチェーンなどにも協力して貰って市民の目に留まる機会を増やすことが出来れば”八千代市産”の農製品により関心が集まると思う</p>
<p>八千代市の農産物を購入する機会（どんと祭）みたいなものが増えると良い</p>

➤ 農業交流に関するご意見

<p>農産物を市内で作ることは良いことだと思います。道の駅や農業研修センターの有効活用を望みます。ただ施設を造るのではなく、いろいろ市外にも発信できるような、人が集まる活動があれば、農作物の利用も人も多く集まるのではないのでしょうか。チャレンジするリーダーや考案者が必要なのではないのでしょうか。やちパンはおいしかった。</p>
<p>農業体験がもっと気軽にできる条件をと思う。</p>
<p>ぜひ農産物を育て買える場所を提供してほしい。</p>
<p>・道の駅をよく利用しますが駐車場が少なくいつも困っています。通常の駐車場枠を増やす他イベント時に臨時駐車場の確保をお願いします ・今年の台風、大雨の被害で市場に出せなかった</p>

梨も廃棄することなく「傷あり梨」として少し値下げで売っていただければ復興支援の思いを込めて購入します！
市内の若者に農業の魅力を積極的に奨励する事
市民農園を増やしてほしい。
空き地を共同で耕し、作る。
都市化区域と農業区域の境にある地であり、この地域性を大事にし、農業とオートキャンプや学校、地域住民との関わりを行政で支援し、維持するようにしてほしい。
学校やさまざまなイベントで紹介するとよい。
道の駅、野菜売場陳列を改善した方がいいと思います。下に置くやり方はよくない。八千代の道の駅は汚いし、しょぼい。他の農産物を扱っている所、店を参考にして買いやすくして、八千代の農産物をアピールしたらいいと思います。陳列方法を勉強してください。駐車場も狭いので買物しづらい。他県の道の駅を見学してみてください。
もしあいている農地があるのなら貸し農園にしたら借りる方がいると思います。そのままにしておくのはもったいないかも。やちよ農業交流センターの活用 すごくきれいな施設なのにあまり活用されている感じがしない。農産物の販売も少ないですし、調理場も使用されているのですか？毎回行くとももたずさみしい感じです。もっとアピールして活用してみてもいい？
貸農園を増やしてほしい。
収穫体験が（さつまいも以外）すぐいっぱいになり、なかなか体験できません。また、貸農地は料金が高く、手が出せません。子供たちと一緒に、野菜作りや収穫が出来る機会のハードルを下げていただけると嬉しいです。
柏の道の駅にある、地元野菜を使った食べ放題レストランのような魅力的な施設がほしい。
近くに貸農園（小区画（2坪くらい））があると便利。
市街中に農業と一般市民を繋げる場や売場が欲しい。PRも！
・高齢化、引き継ぎ手がなく耕作放棄地が増えている。これを活用し市民農園として貸し出し家庭菜園を増やす ・梨・牛乳以外にも野菜を作っているが八千代市産を知らない、もっとPRが必要 ・都会に近いので体験農業として都市部にPRし農業従事者を増やす ・農産物を利用した加工食品をコラボして作り出す ・親交換会は農業関係者だけでなく一般市民の参加者も必要
農地の維持管理は大変ですが頑張って下さい。公民館などでも地産地消の野菜の料理教室をお願いいたします。
八千代でいちご狩りが出来るのは楽しみです。
このアンケートで初めて農業等について考えることになりました。もっと情報を発信する、もしくは情報に接する機会を作るべきだと思います。農業等を考えることはとても大事な事だと思います。
農業関係者と市民との対話機会をイベント等で拡充する必要性を感じる

<p>貸農園が近くにほしいです。(八千代台地域)昔はけっこうありましたよネ。現在 30 歳の子の徒歩で行ける畑へトマトやきゅうりなど取りに行き当時野菜ぎらいな子が多い割にはウチの子は積極的に野菜食べました。(今も)ファミレスなどでは大人でも野菜残す人はいますよネ(もったいない)わざわざ遠く迄農園借りるのはどんなもんなんでしょうか? 毎日の成長、世話をして収穫してそれが楽しみです。なかなか家の庭では沢山の種類ができません。問 12 で 2.3 そんなシステムがあるのを知りません。もっと広めて下さい。主人も私も参加したいです。近所の気が合わない人に無理に気を使うより同じ事に興味がある人達と付き合いたいものです。畑の虫たちもけっこうかわいいですよネ。青虫も蝶になったり八千代にもそういう事好きな人もいるはずですよ。農政課さんががんばって♡</p>
<p>農地を市民農園として貸し出すことで、農業従事者以外の市民に農業への参画を促す。</p>
<p>八千代台西からふるさとステーションは遠いので、八千代台近辺に八千代市の野菜を置いてほしいです。また、給食や授業などでもっと八千代市を PR してほしい。(イオンやヨーカ堂、ヨークマートやタイヨーなど) ドーンと祭りで牛や野菜などふれる機会があってよかったので、もっと季節ごとにもイベントを増やすといいかも。また、ふるさとステーションは遠いので、八千代台近辺でふるさとステーションみたいな料理体験を増やしてほしい。</p>
<p>農作業が精神衛生の維持に効果があるという報告があります。近年は心の疾患の問題が社会全体の関心を集めており、農作業による回復への試みは一考の価値があると思われます。</p>
<p>もっと高齢者など、コミュニティーの一環として、荒れた畑や田んぼなど活用して、もっと八千代市が豊かな生活になるとよいと思います。高齢者の方が運動のかわりとして、農業に関わると健康的になり、保険(医療)に対するお金も少なくなると思う。</p>

➤ 食育に関するご意見

<p>子供の通学路沿いの畑から、強風の時に土ぼこりがものすごいことになるので、通るのに難儀しておりますがどうにもならないですよネ。季節ごとの野菜を見ながら、登園していたのを思い出します。農地がある風景はやはりよいものですね。どんどん宅地になってしまいさびしいです。無人販売の畑の野菜でほしい物がある時は利用しています。ずっと利用できるとよいなあと願っています。いろんな昆虫も見られるので、少しでも多くの畑が残るとよいです。ジュニアトライアルの競技に、八千代産農畜産物をからめたものを加えると楽しく学べるかもしれません。問 16 : 農業交流センターの収穫体験を、学年で違う品で毎年行う。人参農家さんで協力いただける方がいれば、人参収穫はなかなかないのでよい体験になりそうです。ねぎ、キウイも可能ならば…。例、1 年 : ブルーベリー、2 年 : そらまめ、3 年 : 落花生、4 年 : さつまいも、5 年 : えだまめ、6 年 : 米、乳しぼりなど。幼稚園まではじゃがいも掘り、さつまいも掘りが定番行事であります。小学生になるとあまりないので、学校行事に入っているとよいと思います。田植え、稲刈りも楽しかったです。規模が大きすぎるなら、中学生でもよいかもしれません。小学生なら奇数年か偶数年にしぼるなど。やちよカレーを出す。家庭科で作る(人参収穫もからめられたら、なおいいですね)八千代産農産物でカレー以外もやってみたらどうでしょうか。生徒にメニューを考えてもらって、1 日その献立の日を作ってみ</p>

<p>る。(八千代高校生がやちよパンを作っていたので、その小中学生バージョンで、給食メニューを考えてもらうと楽しそうだと思います。)</p>
<p>イチゴ狩りなどの体験や自然や生きものと触れあえる環境など子供達にとって大切な教育環境となっています。農地を保全しそのまま自然と共存できる八千代市であってほしいです。</p>
<p>八千代市の小中学校に通っていたにも関わらず、八千代市でとれたお米が給食で出ていたことを知らなかったため、もっと周知するべきと感じました。また、高校の頃の通学路には田んぼが広がっていて、今後も景観保全に取り組んでいってほしいと感じました。将来、機会があれば貸農園や農地を借りて、農業をしてみたいと考えています。</p>
<p>以前 SNS で見かけたものですが、子供たち、若い人への農業の授業の際に「作業の大変さを教える」ばかりではなく、現代の機械をうまく取り入れたスマートな農業を教えてほしいと思いました。苦労も大切ですが、古い人の言う「自分は（昔）これだけ苦労したんだから今の人も苦労すべき」、手間を省けるところは機械など便利なものに任せて、効率的に農業をできる環境づくりのために色々取り入れてほしいです。問 14：重要だと思うのですが、農家の方々のさまざまな苦労を考えると、「お願いします。今のままずっと続けてください」とは言いにくいです。問 16：私の地元は別の市ですが、小学校 1～3 年生のどこかで、田植えの授業がありました。泥に入り田植え、とても記憶に残っています。このくらいの稲の束でごはん一杯分など、実際に見ることで大切さがわかり、食事を残さないことにもつながるかなと思います。</p>
<p>結婚前は他の市に住んでおり、そこで父が家庭菜園（50 歳を過ぎてから始めました）をやっていました。新鮮な野菜はとてもおいしいし、野菜嫌いの子供も収穫に携わることで、野菜を食べようになり、季節ごとに「もうすぐトマトがたくさん食べられるね」など、旬の野菜を楽しみにするようになりました。自分も小さい子供のころに農業ともっと関わることがあれば、興味を持ったと思います。児童や生徒に課外授業などで、農業について考える機会があれば、とてもいいんじゃないかなと思います。</p>
<p>小学校などでの食育は、すごく子どもたちに良い影響を与えていると思います。スーパーなどに並ぶ農作物は、生産者が長い間大切に育てた野菜やお米などなのだと知って、食べ残しを少しでも減らしてほしいと思います。地産地消の割合が増えるよう、地元の農作物により親しんでいけるようにしたいです。畑や田んぼのない風景はさみしいので、ぜひ農地存続に力を入れてほしいと思います。</p>
<p>小学校の給食試食会で、八千代市産の人参をたくさん使った給食をいただきました。とてもおいしく調理して、大切に野菜を使っているのだなと感じました。学校に限らず、野菜等の大切さ、農業の大切さを子供たちに、きちんと理解してもらえ環境を大切にしていきたいです。</p>
<p>子ども達に「食べられる」ことをあたりまえに思わずいろいろな人の働きと自然の恩恵に感謝する気持ちをもっていくようなことを伝えてほしい。</p>
<p>「食育」を通じて八千代市の農業の発展を意識づけるため『学校給食』には毎食八千代市の農産物を使用するのが大切だと思います。できたら保育園から『食育』をした方が良い！</p>

<p>地産地消に対して前向きに今まで以上に取り組んでほしい。子供達への食育は大切なことで、特に小学生に体験を含め学んでほしい。</p>
<p>八千代市内で教員をしているが、食育という言葉にしばられて、給食や単発の食に関する授業のみになってしまい、農業の未来といった話にまでは発展していないと思います。小学校 5 年生の社会科で日本の産業を扱いますが、就農人口と放棄地の話がサラッと出るくらいなので、市教委と農政課でタッグを組んで、子供たちに現状を知ってもらい、共に考える授業をやりたいと思いました。また、学校では畑や田を所有していることが多いのですが、育て方等よく分からぬ教員が多く、伝えたい収穫の喜びや、命の大切さ、農家の方のすごさにせまれていない気がしています。中学校区、1 名程度農業指導員を配置していただけると助かる学校は多いと思います。</p>
<p>小学生時代に、ぜひ自分たちで育てて食べる農業体験を、市の南側地域でもやってあげてほしいです。</p>

➤ その他のご意見

<p>採れたての野菜がとても新鮮でおいしい。毎日食べてます。</p>
<p>今回のアンケートの意味が理解できない。税金の無駄だと思う。</p>
<p>大変な仕事だと思いますが、これからも頑張ってください。</p>
<p>特になし</p>
<p>おいしい野菜で明るい未来！</p>
<p>農産物の生産から流通、販売の考え方を根本的に見直し、デジタル化により競争力を上げる。農業においても世の中の変化のスピードに追い付く必要がある。</p>
<p>考えた事がない為特に意見はなし！</p>
<p>特になし</p>
<p>今後積極的に八千代産を購入したいと思います。</p>
<p>市議の公約を見ても農業に関する内容は稀であり市の農業が衰退するのも当然と思える</p>
<p>意見交換会、その他の感想とありますがそれこそが農政課に対する意見どころか緊急動議くらいに受け止めたらいかがですか？今回の意見をふまえて「何ができるか？」「何をすべきか？」を行政がプラン（たたき材料で良いので）を作り目標設定、達成に向けてほしい。</p>
<p>私は以前、八千代中央の学習塾に勤務していましたが、市北部に住む農家のお子さんは車での送り迎えが必須で大変そうでした。農業従事者への子育て支援策を充実させることが、八千代市の農業の未来を守ることにつながるように思います。</p>
<p>農地だけでなく雑木林や竹林の手入れもきちんとすべきと思う</p>
<p>災害に強い農業のためにテレビで見たことがあるのですがレタス等建物内で年中作れる工場をやっていました。野菜は価格変動があるのでいつでも安定価格でできれば良いと思います。</p>

<p>重労働の農業をするよりはマンションを建てた方が楽という風潮が多い感じがします。根底には税金問題等色々考えられますが緑があって子供達にも喜ばれる産業として市がバックアップして頂ければと思います。</p>
<p>林等の減少も問題と思います。</p>
<p>市民が知恵を出し合い、八千代市の将来を展望する意識改革が必要だと思います。</p>
<p>PR が下手、PR 不足 八千代市の農業と言われても全くイメージできない</p>
<p>市の農畜産者に感謝しています。今後も頑張ってください。</p>
<p>今回まで八千代市の農業に関して全く何も思っていませんでした。このアンケートで少し興味を持ちました。</p>

調査結果の総括

1. 若年層、都市部住民への地元農産物の供給拡大対策が必要

普段農産物を購入する場について、50～60 歳代に比べ、20～40 歳代は、道の駅・直売の割合が低い。20～30 歳代は、スーパー地場産コーナーの割合も低い。また、「購入したいが近くに売っていない」、「購入したいが購入できる場所がわからない」、「購入したいが八千代産かわからない」の回答は40 代以上と比較して30 代以下は低く、若年層では八千代市産農産物の購入意欲が低いことがわかる。こうした点から、今後、若年層のニーズ・生活様式を踏まえた地産地消の推進策が必要となる。

地域別では、世帯数の多い大和田新田、村上、八千代台北において、「購入したいが近くに売っていない」、「購入したいが購入できる場所がわからない」、「購入したいが八千代産かわからない」の回答が多くなっており、地元農産物を購入しにくい状況と考えられる。今後の取組により、供給拡大の余地がある。また、このような比較的市域の南側において八千代産農産物の需要があることを鑑み、道の駅などの直売所も含めた農産物の直売所の配置や運営方法などについて、検討するとともに、併せて道の駅のあり方についても、包括的な検討を図る必要がある。

2. 地産地消のメリット（市民が八千代産を選ぶメリット）を伝える必要がある

農産物の購入に際して鮮度を重視する人は、鮮度を重視しているにも関わらず、八千代産農産物を積極的に購入する人が少なく、特に八千代産であることを気にしない人が35%となっている。八千代産の農産物を八千代市内で消費することは、鮮度の面で優れているが、鮮度と八千代産であることとの関連に気づいていない消費者が多いことを示していると考えられる。八千代産の農産物は鮮度に優れている、新鮮は美味しいという地産地消のメリットの理解を広めることで、八千代産農産物の選択購入につながる余地が残されていると考えられる。

3. 都市を中心に7割以上の市民が農地を保全することを重要とする

市内の農地を保全することは、73.8%の市民が重要との回答を示した。重要と思うとするのは、特に大和田新田・勝田台・高津といった世帯数の多い地域で高い。農業の多面的機能に対する期待や自由回答の意見から、市内の農地が、新鮮な農産物の提供、洪水の防止、大気の調整、教育、景観保全に貢献していることの理解を広めること、都市部等多くの人の目につく農地の荒廃防止や土ほこり対策等周辺への対応を進めることにより、農地を重要とする市民の増加につながると考えられる。

4. にんじん・ねぎの認知度はなしに比べて低い

にんじん、ねぎは、八千代で比較的生産量の多い作物であるが、認知度はなしの87.8%に比べて、にんじん36.3%、ねぎ25.2%と低い。特に、年代別では、なしがいずれの年代でも8割以上に認知されているのに対し、30歳代の認知度はにんじんで12%、ねぎで10%である等、若年層に認知され

ていない。

5. 市民と農業の関わりは増える余地がある。労働力の供給も期待できる。

市民の農業との関わりは、現状における農業との関わりに比べ、将来の関わりへの回答が全般的に高い。特に、直売所は、現状が46.0%に対し、今後関わりを持ちたいとの回答が73.4%、味覚狩りは、現状が18.1%に対し、今後が35.5%となっており、利用を拡大することが期待できる。

農繁期の労働力で働く意向は農繁期のアルバイト3.9%と割合としては低いが、八千代市の生産年齢人口（15～64歳約12.4万人 R1.9.30時点）に換算すると、5,000名程度の労働力確保に結び付けられる可能性がある。

6. 食育の積極化への期待は高い

学校給食における地元農畜産物の活用については、地元農産物の給食回数を増やす、市内の農畜産物であることを示す等、積極化を志向する意見が合計して約9割と高い。自らが食育の実施に協力するとの回答者も存在することから、市民の協力を得て食育を積極化して展開することが期待される。

7. 市民の農業に対する興味関心が高い

本アンケート調査において、自由意見記載欄を設けたところ、多くの方から収穫体験等の機会の増加、道の駅の機能強化など多様な意見をいただいた。これは市民の農業への興味関心が高いことを示しており、都市部と農村の調和のとれた農業へのヒントを多く含むと考えられることから、頂いた意見について施策を考慮する際に活かしていく必要がある。